

令和2年8月20日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和2年6月24日付け厚生労働省発生食0624第1号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第13条第1項の規定に基づくアズキシストロビンに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

# アゾキシストロビン

今般の残留基準の検討については、収穫後の農産物への使用を考慮した基準値の見直しを行う必要があることから、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

(1) 品目名：アゾキシストロビン [ Azoxystrobin (ISO) ]

(2) 用途：殺菌剤

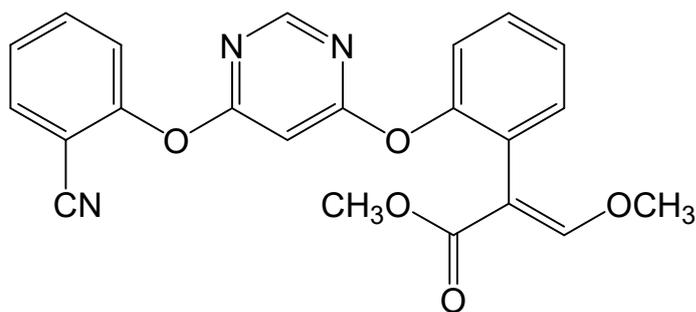
ストロビルリン系殺菌剤である。ミトコンドリアのシトクロームbc<sub>1</sub>複合体のQ<sub>o</sub>部位に結合することで電子伝達系を阻害し、菌の呼吸を阻害することにより抗菌作用を示すと考えられている。

(3) 化学名及びCAS番号

Methyl (*E*)-2-({2-[6-(2-cyanophenoxy)pyrimidin-4-yl]oxy}phenyl)-3-methoxyacrylate (IUPAC)

Benzeneacetic acid, 2-[[6-(2-cyanophenoxy)-4-pyrimidinyl]oxy]- $\alpha$ -(methoxymethylene)-, methyl ester, ( $\alpha$  *E*)- (CAS : No. 131860-33-8)

(4) 構造式及び物性



分子式	C <sub>22</sub> H <sub>17</sub> N <sub>3</sub> O <sub>5</sub>
分子量	403.39
水溶解度	6.0 × 10 <sup>-3</sup> g/L (20°C)
分配係数	log <sub>10</sub> P <sub>ow</sub> = 2.5 (20°C)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

### (1) 国内での使用方法

#### ① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
小麦	紅色雪腐病	原液	4～8 mL /乾燥種子 1 kg	は種前	1回	種子吹き 付け処理	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、は種後 は3回以内)
	株腐病		8 mL /乾燥種子 1 kg			塗沫処理	
	うどんこ病 赤さび病	2000～ 3000倍	100～200 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	
だいず	紫斑病	16～24倍	800 mL/10 a		2回以内	無人 航空機 による 散布	2回以内
		えだまめ	べと病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	散布
あずき	炭疽病、さび病	60～200 L/10 a	収穫7日前 まで				
いんげんまめ	灰色かび病、菌核病 角斑病、炭疽病						
さやいんげん	菌核病、灰色かび病 角斑病	100～300 L/10 a	収穫前日 まで				
さやえんどう 実えんどう	灰色かび病 菌核病、褐紋病						
未成熟 そらまめ	さび病				収穫3日前 まで		
きゅうり	うどんこ病、べと病	1500～ 2000倍	100～300 L/10 a		収穫前日 まで	4回以内	
	灰色かび病、菌核病 褐斑病、炭疽病	1500倍					
	にがうり	うどんこ病 べと病、炭疽病		2000倍			3回以内
うり類 (漬物用)	うどんこ病、べと病 つる枯病、炭疽病	1500～ 2000倍	2000倍	収穫7日前 まで	4回以内	4回以内	
メロン	うどんこ病 つる枯病、べと病						
すいか	つる枯病、炭疽病						
ズッキーニ	うどんこ病						
トマト	葉かび病 灰色かび病						

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数			
なす	うどんこ病 すすかび病	2000倍	100~300 L/10 a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内			
ピーマン	灰色かび病			4回以内 (粒剤は3回以内)						
葉たまねぎ	灰色腐敗病、べと病			収穫3日前 まで	3回以内		3回以内			
たまねぎ	灰色腐敗病、べと病 灰色かび病			収穫前日 まで	4回以内		4回以内			
ねぎ	さび病、べと病 黄斑病、黒斑病 葉枯病 リゾクトニア葉鞘腐敗病			収穫3日前 まで			5回以内 (ただし、粒剤は 1回以内、水和剤 は4回以内)			
わけぎ	さび病、べと病 黄斑病、黒斑病			収穫7日前 まで	4回以内		4回以内			
あさつき				収穫3日前 まで						
にら	白斑葉枯病			収穫14日前 まで	2回以内		2回以内			
にら (花茎)				収穫前日 まで						
にんにく	さび病、葉枯病			収穫7日前 まで	3回以内		3回以内			
らっきょう	さび病			収穫3日前 まで						
レタス	菌核病、灰色かび病 べと病、すそ枯病			1.5~3 L/m <sup>2</sup>	収穫7日前 まで		4回以内	4回以内 (土壌灌注は 2回以内)		
	ビッグベイン病				収穫30日前 まで		2回以内		土壌 灌注	
非結球 レタス	菌核病、灰色かび病 べと病			2000~ 3000倍	収穫7日前 まで		4回以内	4回以内		
はくさい	べと病、黒斑病 白さび病									
		白斑病								
キャベツ	菌核病、株腐病 黒斑病	2000倍	100~300 L/10 a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内			
ブロッコリー	べと病、黒すす病							収穫3日前 まで	3回以内	3回以内
だいこん	白さび病、ワカ症							収穫14日前 まで		4回以内 (粒剤は1回以内、 水和剤は3回以内)
畑わさび	白さび病							収穫7日前 まで	2回以内	2回以内
わさび								畑育苗期		

① 20.0%アズキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
非結球あぶらな科葉菜類 (こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずなを除く)	白さび病	2000倍	100~300 L/10 a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内	
こまつな	白さび病、白斑病							3回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)
チンゲンサイ タアサイ、みずな	白さび病							
かぶ	白さび病、白斑病							
いちご	うどんこ病	1500~2000倍		収穫前日まで	苗床： 4回以内 本圃： 3回以内		8回以内 (苗床では4回以内、本圃での土壌混和は1回以内、本圃での散布は3回以内)	
	炭疽病	2000倍		親株育成期	3回以内			
	灰色かび病	1500倍						
	うどんこ病	1500~2000倍		4回以内				
	炭疽病	2000倍						
	灰色かび病	1500倍						
アスパラガス	茎枯病、斑点病 褐斑病	2000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内	
エンダイブ	菌核病 すそ枯病			収穫21日前まで	1回		1回	
パセリ	うどんこ病			収穫45日前まで			4回以内 (粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)	
みつば	灰色かび病			収穫14日前まで ただし、伏せ込み栽培は伏せ込み前まで			1回	
しそ	斑点病、さび病		収穫前日まで	2回以内	2回以内			
バジル	べと病		5回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)	収穫7日前まで	4回以内			
せり	葉枯病			3回以内	3回以内			
クレソン	斑点病							
葉ごぼう	うどんこ病			1回	1回			
こおにたびらこ ははこぐさ	菌核病							
とうき(葉)	斑点病			3回以内	3回以内			

① 20.0%アゾキシストロビンフロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
みょうが (花穂)	紋枯病	2000倍	3 L/m <sup>2</sup>	収穫3日前まで	2回以内	土壌灌注	4回以内 (粒剤は2回以内、水和剤は2回以内)	
みょうが (茎葉)				みょうが(花穂)の収穫3日前までただし、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで				
オクラ	うどんこ病		100~300 L/10 a	収穫前日まで		4回以内	散布	6回以内 (全面土壌混和は1回以内、散布は2回以内、株元散布は3回以内)
セルリー	斑点病			収穫3日前まで				
モロヘイヤ	灰色かび病 黒星病			収穫前日まで				
しゅんぎく	炭疽病			2回以内				
食用ぎく	白さび病			2回以内				
ばれいしょ	疫病 夏疫病	3000~4000倍		収穫7日前まで	3回以内	植溝内 土壌散布	5回以内 (種いもへの処理は1回以内、植付時の土壌散布は1回以内、散布は3回以内)	
	銀か病	100倍	20 L/10 a 10~20 L/10 a	植付時	1回			
	黒あざ病	100~200倍	20 L/10 a					
		500倍		植付前	種いも 瞬間浸漬			
やまのいも	葉渋病 炭疽病	2000倍	100~300 L/10 a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
さといも	疫病			収穫14日前まで				
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) もち病		100~400 L/10 a	摘採14日前まで				
てんさい	葉腐病 褐斑病	1500倍	100~300 L/10 a	収穫14日前まで	1回	苗床灌注	4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内)	
	根腐病	1500~4000倍						
		500倍	ペーパーポット 1冊当たり 1 L (3 L/m <sup>2</sup> )	定植前				

② 10.0%アズキシストロビンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数	
なし	黒星病、黒斑病 輪紋病	1000～ 1500倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内	
	うどんこ病 炭疽病	1000倍		収穫30日前 まで	3回以内		3回以内	
ぶどう	黒とう病、べと病 灰色かび病 枝膨病、晩腐病 褐斑病、さび病			収穫前日 まで				
おうとう	灰星病、炭疽病 褐色せん孔病			収穫7日前 まで				
もも	炭疽病、灰星病 黒星病 ホトブシ腐敗病			収穫21日前 まで				
ネクタリン	灰星病、黒星病			収穫45日前 まで				
パッション フルーツ	円斑病、疫病			収穫前日 まで				
かき	うどんこ病 落葉病、炭疽病 黒点病、すす点病			収穫7日前 まで				
かき(葉)				収穫前日 まで				
りんご (ふじ、王林、 ジョナゴールド、つがる、 千秋、さんさ、 紅玉、シナノス イート、昂林、 涼香の季節)	うどんこ病			収穫前日 まで				
いちじく	そうか病、疫病 さび病、黒葉枯病			収穫7日前 まで				
すもも	灰星病、すす点病			収穫前日 まで				
びわ	炭疽病			1回				
うめ	黒星病、すす斑病			1500倍				3回以内
マンゴー	炭疽病			1000倍				収穫7日前 まで
グアバ (果実)		収穫前日 まで	3回以内					
オリーブ オリーブ(葉)		収穫30日前 まで	3回以内					
ピタヤ	炭腐症		3回以内	3回以内				
バナナ	黒星病		3回以内	3回以内				

③ 8.0%アズキシストロビンフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病、紋枯病 穂枯れ（ごま葉枯病菌）	1000～ 1500倍	100～200 L/10 a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	4回以内 （育苗箱散布 は1回以内、 本田では 3回以内）
	稲こうじ病 穂枯れ（すじ葉枯病菌） 変色米（カーブリア菌） 変色米（エピコッカム菌） 変色米（アルタナリア菌）	1000倍					
	いもち病、紋枯病	300倍	25 L/10 a			空中散布	
		原液	120～150 mL/10 a				
		8倍	800 mL/10 a				
		30倍	3 L/10 a				
8倍	800 mL/10 a	無人 ヘリコプターに よる散布					

④ 6.0%アズキシストロビン・1.0%フィプロニル粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲 （箱育苗）	いもち病、紋枯病 ウカ類、イネスズムシ コブノメイガ、ニカメテウ イネトムシ、イネトヨイムシ	育苗箱 （30×60×3 cm、 使用土壌約5 L） 1箱当たり50 g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の 上から 均一に 散布する。	4回以内 （育苗箱散布は 1回以内、 本田では3回以内）

⑤ 5.1%アズキシストロビン・40.0%TPNフロアブル

作物名	適用	希釈倍数	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
きゅうり	べと病、うどんこ病 褐斑病、炭疽病 灰色かび病 菌核病、黒星病	1000倍	100～400 L/10 a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
かぼちゃ	うどんこ病 べと病、疫病			収穫7日前 まで	3回以内		
メロン	べと病、うどんこ病 つる枯病、菌核病			収穫3日前 まで	4回以内		
すいか	炭疽病、つる枯病 うどんこ病 褐色腐敗病、菌核病			収穫前日 まで	2回以内		
トマト	疫病、葉かび病 炭疽病、灰色かび病			収穫7日前 まで			
ミニトマト	すすかび病、斑点病						

⑤ 5.1%アズキシストロビン・40.0%TPNフロアブル（つづき）

作物名	適用	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
なす	すすかび病 うどんこ病 褐色腐敗病 黒枯病、灰色かび病	1000倍	100～400 L/10 a	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
はくさい	べと病、白斑病 黒斑病、白さび病			収穫7日前まで	2回以内		
にんじん	黒葉枯病、斑点病 菌核病、しみ腐病 うどんこ病			収穫21日前まで			
たまねぎ	灰色かび病、べと病			収穫7日前まで			4回以内
ねぎ	べと病、さび病 黒斑病、黄斑病 葉枯病 小菌核腐敗病			収穫14日前まで	3回以内		5回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
にんにく	さび病、葉枯病			収穫7日前まで			3回以内
だいこん	白さび病			収穫45日前まで			4回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は3回以内)
ピーマン	斑点病、うどんこ病 黒枯病、炭疽病 灰色かび病、疫病			収穫前日まで	3回以内		4回以内 (粒剤は3回以内)
にがうり	うどんこ病			収穫7日前まで			3回以内

⑥ 2.0%アズキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤

作物名	適用	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	18 kg/10 a	みょうが（花穂）の 収穫30日前まで ただし、花穂を収穫 しない場合にあつて は開花期終了まで	2回以内	土壌表面 散布	4回以内 (粒剤は2回 以内、水和剤 は2回以内)
みょうが (花穂)			収穫30日前まで			
しょうが				3回以内	定植前作条 土壌混和又は生育期土 壌表面散布	3回以内
	いもち病	土壌表面 散布				

⑥ 2.0%アゾキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤（つづき）

作物名	適用	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アゾキシストロビンを含む農薬の総使用回数
葉しょうが	根茎腐敗病	18 kg/10 a	収穫21日前まで	3回以内	土壌表面散布	3回以内
とうがらし類 (ししとうを除く)	疫病	3 g/株	収穫前日まで	1回	株元散布	1回
ししとう						3回以内
ピーマン		4回以内 (粒剤は3回以内)				
パセリ		12 kg/10 a	収穫21日前まで	3回以内		4回以内 (粒剤は3回以内、水和剤は1回以内)
かぶ こまつな	白さび病	9 kg/10 a	は種前	1回	全面土壌混和	3回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は2回以内)
チンゲンサイ タアサイ			定植前			
みずな			は種前又は定植前			
にんじん	しみ腐病	9~18 kg/10 a	は種前		4回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は3回以内)	
だいこん	白さび病	6~9 kg/10 a 6 kg/10 a				
いちご	疫病	10 kg/10 a	定植時		作条土壌混和	8回以内 (苗床では4回以内、本圃での土壌混和は1回以内、本圃での散布は3回以内)
ほうれんそう	べと病	9 kg/10 a	は種前		全面土壌混和	1回
せり	葉腐病	3 kg/10 a	収穫21日前まで		湛水散布	5回以内 (粒剤は1回以内、水和剤は4回以内)
ねぎ	白絹病 べと病 さび病	9 kg/10 a	土寄せ時 ただし、収穫90日前まで		株元土壌混和	1回
べにばな いんげん	茎根腐病	1 g/株	定植時		株元散布	
ごぼう	黒あざ病	18 kg/10 a	は種前	作条土壌混和	1回	
くわい	茎腐病	3 kg/10 a	収穫21日前まで	2回以内	湛水散布	2回以内

⑥ 2.0%アズキシストロビン・1.0%メタラキシルM粒剤 (つづき)

作物名	適用	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
オクラ	苗立枯病	9~18 kg/10 a	は種前	1回	全面土壌混和	6回以内 (全面土壌混和は1回以内、 散布は2回以内、 株元散布は3回以内)
	疫病	9 kg/10 a	収穫前日まで	3回以内	株元散布	
たらのぎ	立枯疫病	20 kg/10 a	収穫終了後(苗の場合は植付後)~落葉前 ただし、収穫60日前まで	2回以内	土壌表面散布	2回以内
こんにゃく	根腐病	9 kg/10 a	植付時	1回	植溝土壌混和	2回以内 (植付時又は 培土時の処理 は合計1回 以内、培土後は 1回以内)
	白絹病		培土時 収穫30日前まで		株元散布	
ホップ	べと病	10~20 g/株	株ごしらえ時~選芽期			1回

⑦ 1.5%アズキシストロビン粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病	4 kg/10 a	出穂10~30日前	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)

⑧ 0.60%アズキシストロビン粉剤

作物名	適用	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アズキシストロビンを含む農薬の総使用回数
稲	紋枯病 穂枯れ(ごま葉枯病菌)	4 kg/10 a	収穫14日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では3回以内)

(2) 海外での使用方法

① 22.93%アゾキシストロビンフロアブル (米国)

作物名	適用	1回当たりの 使用量	年間 総使用量	本剤の 使用回数	使用 時期	使用方法
とうもろこし	さび病	112~168 g ai/ha	2241 g ai/ha	7~20回	収穫 7日前 まで	散布 空中散布 土壌散布 灌漑同時処理
	炭疽病、褐斑病、灰斑病 すす紋病、北方斑点病 ごま葉枯病、南方さび病	112~280 g ai/ha				
	生育初期の処理	112 g ai/ha				
	土壌伝染病、Stalk Rot	2.95~5.90 g ai/305 m列				
大豆	土壌伝染病 根腐病、白絹病	2.95~5.90 g ai/305 m列	1681 g ai/ha	5~15回	収穫 14日前 まで	
	葉腐病、褐点病、炭疽病 褐紋病、斑点病、黒点病 さび病	112~280 g ai/ha				
ラディッシュ	葉病害、黒斑病、斑紋病 さび病、白さび病	168~280 g ai/ha	2241 g ai/ha	6~20回	収穫 当日 まで	
	斑点病、うどんこ病			8~13回		
	土壌伝染病、Circular Spot 白絹病、根腐萎凋病 茎腐病、炭疽病			2.95~5.90 g ai/305 m列		
レタス セロリ ほうれんそう	葉病害、黒斑病、炭疽病 斑紋病、褐斑病、さび病 斑点病、白さび病	112~280 g ai/ha	1681 g ai/ha	5~15回	収穫 当日 まで	
	べと病、うどんこ病	224~280 g ai/ha		6~7回		
	土壌伝染病、Webb Blight すそ枯病、立枯病、根腐病	2.95~5.90 g ai/305 m列				
パパイヤ	炭疽病、褐斑病 うどんこ病、さび病	112~280 g ai/ha	2241 g ai/ha	5~15回	収穫 当日 まで	
	土壌伝染病、苗立枯病	2.95~5.90 g ai/305 m列				
なたね ひまわり	黒斑病、べと病 パスモ病、さび病	112~280 g ai/ha	504 g ai/ha	1~4回	収穫 30日前 まで	散布 空中散布 灌漑同時処理
ペカン	黒斑病、炭疽病 Eastern Filbert Blight Late Blight、黒星病 斑点病、Shot Hole Blossom Blight	224 g ai/ha	1345 g ai/ha	6~12回	収穫 45日前 まで	

ai : active ingredient (有効成分)

① 22.93%アズキシストロビンフロアブル (米国) (つづき)

作物名	適用	1回当たりの 使用量	年間 総使用量	本剤の 使用回数	使用 時期	使用方法
アーモンド	黒斑病、炭疽病 Leaf Blight、Leaf Rust 黒星病、Shot Hole	224~280 g ai/ha	1681 g ai/ha	5~15回	収穫 28日前 まで	散布 空中散布 灌漑同時 処理
	Brown Rot Blossom Blight					
ピスタチオ	Alternaria Late Blight 枝枯病、斑点病				収穫 7日前 まで	

② 250 g/Lアズキシストロビンフロアブル (カナダ)

作物名	適用	使用量	本剤の 使用回数	使用時期	使用方法
キャノーラ	Virulent Blackleg Alternaria Black Spot	125 g ai/ha	1回	収穫30日前 まで	散布 空中散布
	Sclerotinia Stem Rot Alternaria Black Spot抑制	175~250 g ai/ha			

③ 250 g/Lアズキシストロビンフロアブル (豪州)

作物名	適用	使用量	本剤の 使用回数	使用時期	使用方法
アボカド	Stem End Rot、炭疽病	0.20 g ai/L	3回	収穫7日前 まで	散布

④ 50%アズキシストロビン顆粒水和剤 (ブラジル)

作物名	適用	使用量	本剤の 使用回数	使用時期	使用方法
コーヒー	褐斑病、さび病	0.05 kg/ha	4回以内	収穫21日前 まで	散布
	葉腐病、さび病 <i>Phoma costaricensis</i>				土壌灌注

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

【国内】

① 分析対象物質

- ・アズキシストロビン

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、多孔性ケイソウ土カラム又はアセトニトリル/ヘキサ  
ンで分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、紫外分光光  
度型検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-UV) で定量する。

または、試料からアセトンで抽出する。C<sub>18</sub>カラム及びグラファイトカーボンカラム

を用いて精製、または酢酸エチルに転溶し、フロリジルカラム、グラファイトカーボンカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製、あるいは多孔性ケイソウ土カラム、アセトニトリル/ヘキサン分配、フロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、液体クロマトグラフ・質量分析計（LC-MS）で定量する。

あるいは、試料からアセトニトリルで抽出し、ジクロロメタンに転溶する。C<sub>18</sub>カラムを用いて精製し、ジクロロメタンに転溶する。シリカゲルカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、HPLC-UVで定量する。

定量限界：0.003～1 mg/kg

## 【海外】

### ① 分析対象物質

・アゾキシストロビン

### ② 分析法の概要

試料からアセトニトリル・水（9：1）混液で抽出し、酢酸エチル・*n*-ヘキサン（1：4）混液又はジクロロメタンに転溶する。フロリジルカラムを用いて精製した後、LC-MS又は高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ（GC-NPD）で定量する。

または、試料からアセトニトリル・水混液で抽出し、C<sub>18</sub>カラムを用いて精製した後、ジクロロメタンに転溶する。C<sub>18</sub>カラム及びシリカゲルカラム、GPC、又はアルミナカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、HPLC-UV又はGC-NPDで定量する。

あるいは、試料からアセトニトリル・水混液で抽出し、C<sub>18</sub>カラム、GPC及びフロリジルカラム、又はフロリジルカラム及びシリカゲルカラムを用いて精製した後、HPLC-UV又はGC-NPDで定量する。

定量限界：0.003～1 mg/kg

## （2）作物残留試験

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-1、海外で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙1-2、1-3、1-4及び1-5を参照。

なお、海外で実施された収穫後使用に係る作物残留試験の結果の概要については別紙1-6及び1-7を参照。

## 4. 魚介類における推定残留濃度

本剤については水系を通じた魚介類への残留が想定されることから、本剤の水域環境中予測濃度<sup>注1)</sup>及び生物濃縮係数（BCF：Bioconcentration Factor）から、以下のとおり魚介類中の推定残留濃度を算出した。

### (1) 水域環境中予測濃度

本剤が水田及び水田以外のいずれの場合においても使用されることから、水田PECTier2<sup>注2)</sup>及び非水田PECTier1<sup>注3)</sup>を算出したところ、水田PECTier2は0.47 µg/L、非水田PECTier1は0.016 µg/Lとなったことから、水田PECTier2の0.47 µg/Lを採用した。

### (2) 生物濃縮係数

本剤はオクタノール/水分配係数 ( $\log_{10}Pow$ ) が2.5であり、魚類濃縮性試験が実施されていないことから、BCFについては実測値が得られていない。このため、 $\log_{10}Pow$ から、回帰式 ( $\log_{10}BCF = 0.80 \times \log_{10}Pow - 0.52$ ) を用いて30 L/kgと算出された。

### (3) 推定残留濃度

(1) 及び (2) の結果から、アゾキシストロビンの水域環境中予測濃度: 0.47 µg/L、BCF: 30 L/kgとし、下記のとおり推定残留濃度を算出した。

$$\text{推定残留濃度} = 0.47 \mu\text{g/L} \times (30 \text{ L/kg} \times 5) = 70.5 \mu\text{g/kg} = 0.0705 \text{ mg/kg}$$

注1) 農薬取締法第4条第1項第8号に基づく水域の生活環境動植物の被害防止に係る農薬登録基準設定における規定に準拠

注2) 水田中や河川中での農薬の分解や土壌・底質への吸着、止水期間等を考慮して算出

注3) 既定の地表流出率、ドリフト率で河川中に流入するものとして算出

(参考) : 平成19年度厚生労働科学研究費補助金食品の安心・安全確保推進研究事業「食品中に残留する農薬等におけるリスク管理手法の精密化に関する研究」分担研究「魚介類への残留基準設定法」報告書

## 5. 畜産物における推定残留濃度

本剤については、飼料として給与した作物を通じ家畜の筋肉等への移行が想定されることから、飼料の最大給与割合等から算出した飼料中の残留農薬濃度と動物飼養試験の結果を用い、以下のとおり畜産物中の推定残留濃度を算出した。

### (1) 分析の概要

#### ① 分析対象物質

・アゾキシストロビン

#### ② 分析法の概要

試料からアセトニトリルで抽出し、乳はジクロロメタンに転溶する。GPCを用いて精製し、必要に応じてアルミナカラム及びフロリジルカラムを用いて精製した後、GC-NPDで定量する。

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓 0.01 mg/kg

乳 0.001 mg/kg

## (2) 家畜残留試験（動物飼養試験）

### ① 乳牛を用いた残留試験

乳牛（フリージアン種、475.5～645.0 kg、3頭/群）に対して、5、25、75及び250 ppmのアゾキシストロビンを含む飼料を27～30日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に含まれるアゾキシストロビンの濃度をGC-NPDで測定した。乳については、投与開始1、3、5、7、12、14、17、21、26、29、30及び31日後に採取した乳に含まれるアゾキシストロビンの濃度をGC-NPDで測定した。結果は表1を参照。

表1. 乳牛の試料中の残留濃度 (mg/kg)

	5 ppm投与群	25 ppm投与群	75 ppm投与群	250 ppm投与群
筋肉	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)
	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)
脂肪	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.03 (最大)	0.03 (最大)
	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.02 (平均)	0.02 (平均)
肝臓	<0.01 (最大)	0.01 (最大)	0.05 (最大)	0.07 (最大)
	<0.01 (平均)	0.01 (平均)	0.03 (平均)	0.05 (平均)
腎臓	<0.01 (最大)	<0.01 (最大)	0.01 (最大)	0.02 (最大)
	<0.01 (平均)	<0.01 (平均)	0.01 (平均)	0.02 (平均)
乳 <sup>注)</sup>	0.002 (平均)	0.002 (平均)	0.002 (平均)	0.004 (平均)

定量限界：筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓 0.01 mg/kg、乳 0.001 mg/kg

注) 投与期間中に採取した乳中の濃度を1頭ずつ別々に算出し、その平均値を求めた。

### ② 産卵鶏を用いた残留試験

産卵鶏（Lohmann Brown種、約1.7～2.1 kg、12羽/群）に対して、6、18及び60 ppmのアゾキシストロビンを含む飼料を28日間にわたり摂食させ、筋肉、脂肪及び肝臓に含まれるアゾキシストロビンの濃度をGC-NPDで測定したところ、最高投与群においていずれも定量限界未満（定量限界：0.01 mg/kg）であった。卵については、投与開始1、3、7、10、14、18、21、25及び28日後に採取した卵に含まれるアゾキシストロビンの濃度をGC-NPDで測定したところ、最高投与群においていずれも定量限界未満（定量限界：0.01 mg/kg）であった。

上記の結果に関連して、JMPRは、牛及び家きんのMDB<sup>注1)</sup>をそれぞれ72及び22 ppm、乳牛、肉牛及び家きんのSTMR dietary burden<sup>注2)</sup>をそれぞれ27、32及び9.1 ppmと評価している。

注1) 最大飼料由来負荷 (Maximum Dietary Burden : MDB) : 飼料として用いられる全ての飼料

品目に農薬が残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露される最大濃度。飼料中濃度として表示される。

注2) 平均的飼料由来負荷 (STMR dietary burden又はmean dietary burden) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に農薬が平均的に残留していると仮定した場合に (作物残留試験から得られた残留濃度の中央値を試算に用いる)、飼料の摂取によって畜産動物が暴露される最大濃度。飼料中濃度として表示される。

### (3) 推定残留濃度

牛及び鶏について、MDB又はSTMR dietary burdenと家畜残留試験結果から、畜産物中の推定残留濃度を算出した。結果は表2を参照。

表2. 畜産物中の推定残留濃度：牛及び鶏 (mg/kg)

	筋肉	脂肪	肝臓	腎臓	乳	卵
乳牛	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.03 (最大) 0.01 (平均)	0.05 (最大) 0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)	0.002 (最大) 0.002 (平均)	
肉牛	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	0.03 (最大) 0.01 (平均)	0.05 (最大) 0.01 (平均)	0.01 (最大) 0.01 (平均)		
産卵鶏	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	<0.01 (最大) <0.01 (平均)	-		<0.01 (最大) <0.01 (平均)

- : 分析せず

## 6. ADI及びARfDの評価

食品安全基本法 (平成15年法律第48号) 第24条第1項第1号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたアゾキシストロビンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

### (1) ADI

無毒性量 : 18.2 mg/kg 体重/day (発がん性は認められなかった。)

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(期間) 2年間

安全係数 : 100

ADI : 0.18 mg/kg 体重/day

### (参考)

評価に供された遺伝毒性試験の *in vitro* 試験の一部で陽性の結果が得られたが、小核試験を始め *in vivo* 試験では陰性の結果が得られたので、アゾキシストロビンは生体にとって問題となる遺伝毒性はないと結論されている。

## (2) ARfD

無毒性量：150 mg/kg 体重/day

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(期間) 妊娠7～19日

安全係数：100

ARfD：1.5 mg/kg 体重

## 7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価が行われ、2008年にADIが設定され、ARfDは設定不要と評価されている。国際基準はバナナ、ぶどう等に設定されている。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてとうもろこし、いちご等に、カナダにおいてぶどう、なたね等に、EUにおいてえだまめ、ぶどう等に、豪州においてアボカド、ぶどう等に、ニュージーランドにおいて小麦、ぶどう等に基準値が設定されている。

## 8. 基準値案

### (1) 残留の規制対象

アゾキシストロビンとする。

海外の作物残留試験において、メチル(2)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリレート（以下、代謝物Dという。）が検出されており、米国等では代謝物Dも含めて規制を行っているが、海外の作物残留試験成績のうち大部分において、代謝物Dの残留濃度はアゾキシストロビンの10%未満にとどまっていること、また、国内の作物残留試験のうち代謝物Dについて分析を行った試験（10試験）では、代謝物Dの残留濃度はいずれも定量限界未満（定量限界：0.01 mg/kg）であることから、代謝物Dについては規制対象に含めないこととする。

### (2) 基準値案

別紙2のとおりである。

### (3) 暴露評価対象

アゾキシストロビンとする。

ヤギを用いた体内運命試験の結果、一部の代謝物が10%TRR<sup>注)</sup>を超えて認められたが、肝臓及び腎臓に限られていたことから、暴露評価対象はアゾキシストロビンとする。

注) %TRR : 総放射性残留物 (TRR, Total Radioactive Residue) 濃度に対する比率 (%)

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物、畜産物及び魚介類中の暴露評価対象物質をアゾキシストロビン (親化合物のみ) としている。

#### (4) 暴露評価

##### ① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体 (1歳以上)	43.9
幼小児 (1~6歳)	79.7
妊婦	39.7
高齢者 (65歳以上)	50.1

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

#### <参考>

	EDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体 (1歳以上)	11.9
幼小児 (1~6歳)	20.8
妊婦	10.2
高齢者 (65歳以上)	13.8

注) 各食品の平均摂取量は、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

##### ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1~6歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARFD) を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17~19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

## アズキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
稲 (玄米)	2	6.0%粒剤+ 1.5%粒剤	50 g/箱 (箱施用) + 4 kg/10 a 散布	4	39, 41, 50	圃場A:<0.01 (4回, 39日)
					35, 39, 46	圃場B:<0.01 (4回, 35日)
	2	6.0%粒剤+ 0.6%粉剤		4	14, 21, 28	圃場A:0.01 圃場B:0.02
	2	6.0%粒剤+ 8%フロアブル	50 g/箱 (箱施用)+ 1,000倍散布 150 L/10 a	4	13, 20, 27	圃場A:0.04 (4回, 13日)
					4	14, 21, 28
	2		50 g/箱 (箱施用)+ 8倍無人ヘリ散布 800 mL/10 a	4	14	圃場A:0.03 圃場B:0.04
2	6.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	50 g/箱 (箱施用)+ 500倍散布 25 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:0.02 (4回, 14日) (#) 圃場B:0.02 (4回, 14日) (#)	
小麦 (種子)	1	20.0%フロアブル	原液 8 mL/kg (種子処理) + 800倍根雪前散布 100 L/10 a + 2000倍散布 100 L/10 a	2	237	圃場A:<0.01 (#)
				5	7, 14, 21	圃場A:0.02 (5回, 7日) (#)
	1			2	208	圃場A:0.01 (#)
	5			7, 14, 21	圃場A:0.10 (5回, 7日) (#)	
だいず (乾燥子実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200~250 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.02 (3回, 7日) (#) 圃場B:0.01 (3回, 7日) (#)
	2		8倍無人ヘリ散布 800 mL/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.03 (2回, 7日) (#) 圃場B:0.05 (2回, 7日) (#)
あずき (乾燥子実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 120 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:0.01 圃場B:0.01 (3回, 14日)
いんげんまめ (乾燥子実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
べにばないんげん (乾燥種実)	2	2.0%粒剤	1 g/株	1	89, 96, 103 91, 98, 105	圃場A:<0.1 (1回, 89日) 圃場B:<0.1 (1回, 91日)
ばれいしょ (塊茎)	2	20.0%フロアブル	500倍種いも浸漬 3000倍散布 200~250 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:<0.003 圃場B:<0.003
	2		500倍種いも浸漬 100倍散布20 L/10 a 3000倍散布192~200 L/10 a	5	7, 14	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
さといも (塊茎)	3	20.0%フロアブル	2000倍散布 174~182 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:<0.01 圃場B:0.03 圃場C:<0.01
やまのいも (塊根)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200~250 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
こんにやく (球茎)	2	2.0%粒剤	9 kg/10 a	1	123, 137, 151 100, 114, 128	圃場A:0.008 (1回, 137日) 圃場B:0.006 (1回, 114日)
	2	2.0%粒剤	9 kg/10 a	2	30, 45, 60	圃場A:0.025 (2回, 30日) 圃場B:0.012 (2回, 60日)
	2	2.0%粒剤	9 kg/10 a	2	30, 45, 60, 72	圃場A:0.021 (2回, 45日) 圃場B:0.011 (2回, 72日)
てんさい (根部)	2	20.0%フロアブル	1500倍散布 200 L/10 a	3	14, 21, 30	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
	2		1500倍散布 200 L/10 a + 500倍土壌灌注	1+3	14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:0.01 (4回, 21日)
だいこん (根部)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 107~250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a+ 2000倍散布200 L/10 a	1+3	14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
だいこん (葉部)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 107~250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A:0.44 圃場B:0.14
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a+ 2000倍散布200 L/10 a	1+3	14, 21	圃場A:4.62 (4回, 14日) 圃場B:1.21 (4回, 14日)
だいこん (つまみ菜)	2	2.0%粒剤	9 kg/10 a	1	14	圃場A:<0.01 圃場B:0.07
だいこん (間引き菜)	2			1	20	圃場A:<0.01 圃場B:0.01

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
かぶ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:2.36 圃場B:8.64
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a作条土壌混和+ 2000倍散布200 L/10 a	1+2	7, 14	圃場A:4.4 圃場B:10.4
	1			1+2	7, 14	圃場A:7.13
かぶ (根茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.02 圃場B:0.04(2回, 14日)
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a作条土壌混和+ 2000倍散布200 L/10 a	1+2	7, 14	圃場A:0.04 圃場B:0.08
	1			1+2	7, 14	圃場A:<0.01
クレソン (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150 L/10 a	3	21	圃場A:<0.20 圃場B:0.26
はくさい (茎葉)	1	20.0%フロアブル	原液 8 mL/kg (吹付コーティング) + 2000倍散布 300L/ 10 a	5	7, 14, 21	圃場A:0.10(5回, 7日) (#)
	1	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:0.06
キャベツ (葉球)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.08 圃場B:<0.01
こまつな (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 214~400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:1.0 圃場B:9.2
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a散布+ 2000倍散布200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:2.0 圃場B:2.0
みずな (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 265~391 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:8.5 圃場B:24.6
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a全面土壌混和+ 2000倍散布200 L/10 a	1+2	7, 14, 21	圃場A:1.3 圃場B:5.2
チンゲンサイ (茎葉)	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a散布+ 2000倍散布200 L/10 a	1+2	7, 14	圃場A:6.4(4回, 7日) 圃場B:1.4(4回, 7日)
ブロッコリー (花蕾)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 250, 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:2.8 圃場B:2.4
大山そだち (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:4.12 圃場B:5.34
サガミグリーン (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:4.18 圃場B:4.12
しろな (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	1	7, 14	圃場A:0.76 圃場B:3.32
タアサイ (葉部)	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a+ 2000倍散布 200 L/10 a	1+2	7, 14	圃場A:1.6 圃場B:4.7
ごぼう (根部)	2	2.0%粒剤	18 kg/10 a 散布	1	141, 148, 155 148, 155, 162	圃場A:<0.01(1回, 141日) 圃場B:0.02(1回, 162日)
畑わさび (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14, 28	圃場A:5.86 圃場B:11.8
畑わさび (根茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a		7, 14, 28	圃場A:0.82(2回, 14日) 圃場B:0.73
畑わさび (花及び花茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300~320 L/10 a		7, 14, 28	圃場A:1.52 圃場B:7.16
エンダイブ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	1	21, 28, 35	圃場A:<0.05 圃場B:1.18
しゅんぎく (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 7, 14	圃場A:12.1 圃場B:15.2
レタス (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200~300 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:1.52 圃場B:2.94(4回, 14日)
	2		2000倍土壌灌注 3000 L/10 a + 茎葉散布 200~300 L/10 a	4	7, 14 7, 13	圃場A:2.4 圃場B:2.5
サラダ菜 (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:14.0 圃場B:15.9
リーフレタス (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 100~245 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A:21.0 圃場B:5.0
食用ぎく (花器全体)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:7.84 圃場B:9.16
葉ごぼう (植物体全体)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	1	21, 28	圃場A:1.6 圃場B:2.2
こおにたびらこ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150 L/10 a	1	30, 45, 60	圃場A:0.86 圃場B:1.29
ははこぐさ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 100~150 L/10 a	1	30, 45, 60	圃場A:0.36 圃場B:0.77
たまねぎ (鱗茎)	2	20.0%フロアブル	1500倍散布 200 L/10 a	4	1, 7, 14	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
根深ねぎ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 180~300 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:0.96 圃場B:0.20
	1	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a株元土壌混和+ 2000倍散布180~200 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:1.32
葉ねぎ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:1.42(4回, 7日) 圃場B:1.20
	1	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	9 kg/10 a株元土壌混和+ 2000倍散布181 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.84

## アズキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
にんにく (鱗茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300, 150 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
にら (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~200 L/10 a	2	14	圃場A:1.10 圃場B:2.42
アスパラガス (茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 250~300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.83
わけぎ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~400 L/10 a		1, 3, 6	圃場B:0.13
らっきょう (鱗茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150 L/10 a	3	7, 14	圃場A:0.1 圃場B:0.4
葉たまねぎ (鱗茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:0.02(3回, 7日) 圃場B:0.02
はなにら (花茎)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:1.26 圃場B:1.94
にんじん (根部)	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 200~400 L/10 a	2	21, 28	圃場A:0.02 圃場B:<0.01
	2	2.0%粒剤+ 4.8%フロアブル	18 kg/10 a作糸土壌混和+ 1000倍散布 150~200 L/10 a	1+2	21, 28	圃場A:0.05 圃場B:0.06(3回, 28日)
パセリ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 250 L/10 a	1	45, 60	圃場A:0.05(1回, 60日) 圃場B:0.33
	2	20.0%フロアブル 2.0%粒剤	2000倍散布 200 L/10 a + 18 kg/10 a	1+3	21, 28	圃場A:<1(4回, 21日) (#) 圃場B:<1(4回, 21日) (#)
セルリー (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:9.36 圃場B:6.1(4回, 7日)
みつば (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 100 L/10 a	1	14, 21	圃場A:1.6 圃場B:1.7
せり (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	4	7, 14, 21 7, 12, 20	圃場A:0.7(4回, 14日) 圃場B:0.8
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	3 kg/10 a + 2000倍散布 260~330 L/10 a	1+4	21, 28, 35	圃場A:5.63 圃場B:2.51
トマト (果実)	2	20.0%フロアブル	1500倍散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7 1, 3, 8	圃場A:0.40 圃場B:0.09(4回, 8日)
	2	4.8%フロアブル	1000倍散布 300 L/10 a	2	7, 14	圃場A:0.2 圃場B:0.1
ピーマン (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:1.18 圃場B:1.28
	2	2.0%粒剤	3 g/株	4	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.1(4回, 1日) (#) 圃場B:<0.1(4回, 1日) (#)
なす (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.26 圃場B:0.58
ししとう (果実)	2	2.0%粒剤	3 g/株	4	1, 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.1(4回, 1日) (#) 圃場B:<0.1(4回, 1日) (#)
	2		3 g/株		1, 3, 7, 14 1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A:<0.1(4回, 1日) (#) 圃場B:<0.1(4回, 1日) (#)
きゅうり (果実)	1	20.0%フロアブル	1000倍株元灌注 100 mL/株 + 1500倍散布 150~300 L/10 a	1	46	圃場A:<0.01(#)
	1			4	1, 3, 7	圃場A:0.20(4回, 1日) (#)
	1		1000倍株元灌注 100mL/株 + 1500倍散布 150~300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.16(5回, 1日) (#)
	1			1	85	圃場A:0.01(#)
	2			4	1, 3, 7	圃場A:0.48(4回, 1日) (#)
2	5	1, 3, 7	圃場B:0.25(5回, 1日) (#)			
かぼちゃ (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 293.3~300 L/10 a	4	1, 7, 14	圃場A:0.1(4回, 7日) (#) 圃場B:<0.1(4回, 7日) (#)
ズッキーニ (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 250 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.2 圃場B:0.2
すいか (果肉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 168~300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.01(4回, 7日) 圃場B:<0.01
すいか (果肉)	3	20.0%フロアブル	2000倍散布 221~279 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.006(4回, 3日) 圃場B:0.011(4回, 7日) 圃場C:0.003(4回, 7日)
	3			4	1, 3, 7	圃場A:0.003 圃場B:0.010(4回, 7日) 圃場C:0.007(4回, 7日)
すいか (果実)	3	20.0%フロアブル	2000倍散布 221~279 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.145(4回, 3日) 圃場B:0.323(4回, 3日) 圃場C:0.153
	3			4	1, 3, 7	圃場A:0.109 圃場B:0.450(4回, 3日) 圃場C:0.252
メロン (果肉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
メロン (果肉)	3	20.0%フロアブル	2000倍散布 230~281 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.004 圃場B:0.005 圃場C:0.002
	3			4	1, 3, 7	圃場A:0.010 圃場B:0.012(2回, 3日) 圃場C:0.010
メロン (果実)	3	20.0%フロアブル	2000倍散布 230~281 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A:0.467 圃場B:0.461 圃場C:0.482
	3			4	1, 3, 7	圃場A:0.361 圃場B:0.430(4回, 3日) 圃場C:0.311

## アズキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
にがうり (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~300 L/10 a	3	7	圃場A:0.11 圃場B:0.40
ほうれんそう (茎葉)	2	2.0%粒剤	9 kg/10 a全面土壌混和	1	46, 53, 60 29, 36, 41	圃場A:<0.01(1回, 46日) 圃場B:<0.01(1回, 29日)
オクラ (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 180~250 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:1.22 圃場B:1.06
	2	20.0%フロアブル + 2.0%粒剤	全面土壌混和18 kg/10 a 株元散布9 kg/10 a 2000倍散布300 L/10 a 全面土壌混和18 kg/10 a 株元散布9 kg/10 a 2000倍散布150 L/10 a	6	1, 3, 7, 14	圃場A:0.12 圃場B:0.42
	2	20.0%フロアブル + 2.0%粒剤	全面土壌混和18 kg/10 a 2000倍散布250 L/10 a 株元散布9 kg/10 a 全面土壌混和18 kg/10 a 2000倍散布150 L/10 a 株元散布9 kg/10 a	6	1, 3, 7, 14	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
	1	2.0%粒剤	全面土壌混和18 kg/10 a	1	78, 80, 84, 91	圃場A:<0.01
	2	2.0%粒剤	散布 18 kg/10 a	3	30, 40	圃場A:0.013 圃場B:0.058
しょうが (塊茎)	2	2.0%粒剤	散布 18 kg/10 a	3	21, 28, 35	圃場A:0.03 圃場B:0.14(3回, 35日)
葉しょうが (根茎)	2	2.0%粒剤	散布 18 kg/10 a	3	21, 28, 35	圃場A:0.03 圃場B:0.14(3回, 35日)
さやえんどう (さや)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.28(3回, 3日) 圃場B:1.30
さやいんげん (さや)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150, 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.77 圃場B:1.12
えだまめ (さや)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.32 圃場B:0.47(3回, 3日)
未成熟そらまめ (豆)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 250~286 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
くわい (塊茎)	2	2.0%粒剤	散布 3 kg/10 a	2	21, 28, 35	圃場A:<1.0 圃場B:0.04(2回, 28日)
せんぶり (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:14.8 圃場B:3.65(3回, 14日)
モロヘイヤ (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍 200 L/10 a	4	1, 7, 14	圃場A:12.8 圃場B:4.02
オリーブ (葉)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 333~500 L/10 a	2	28	圃場A:8.67 圃場B:7.13
たらのき (芽)	2	2.0%粒剤	20 kg/10 a散布	2	60, 75, 90	圃場A:<0.04 圃場B:<0.04
かき (葉)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 700 L/10 a	3	21, 30, 45	圃場A:14.0(3回, 30日) 圃場B:29.2
りんご (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	5	42	圃場A:0.98(≠) 圃場B:0.14(≠)
日本なし (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	5	14, 28, 42	圃場A:0.60(5回, 14日) 圃場B:0.36(5回, 14日)
	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A:0.68 圃場B:0.35
びわ (果肉)	1	10.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A:0.014 圃場A:0.017 圃場B:0.008
	2			圃場A:0.04 圃場B:<0.01 圃場C:0.02		
びわ (果肉)	3	10.0%フロアブル	1000倍散布 400~553 L/10 a	3	7, 9, 14	圃場A:6.24 圃場B:1.50 圃場C:6.83
びわ (果皮)	3	10.0%フロアブル	1000倍散布 400~553 L/10 a	3	7, 9, 14	圃場A:0.84注3) 圃場B:0.32注2) 圃場C:0.97注2)
びわ (果実)	3	10.0%フロアブル	1000倍散布 400~553 L/10 a	3	7, 9, 14	圃場A:0.84注3) 圃場B:0.32注2) 圃場C:0.97注2)
もも (果肉)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:<0.01 圃場B:0.01
もも (果皮)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:2.57 圃場B:6.42(3回, 3日)
もも (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.39注3) 圃場B:0.97(3回, 3日)注3)

## アズキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)		
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
ネクタリン (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7, 14	圃場A:0.5(3回, 3日) 圃場B:1.4		
すもも (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 300~400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.12 圃場B:0.09		
うめ (果実)	2	10.0%フロアブル	1500倍散布 250~300 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:0.6(3回, 7日) 圃場B:0.7		
おうとう (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:1.30(3回, 3日) 圃場B:0.47		
いちご (果実)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a + 1000倍土壌灌注 100 mL/株	5	89	圃場A:0.11(#)		
			2000倍定植前散布 300 L/ 10 a + 1000倍土壌灌注100 mL/株 + 1500倍収穫前散布300 L/10 a	5+3	1, 3, 7	圃場B:1.20(8回, 1日) (#)		
	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	5	217	圃場A:0.03(#)		
			2000倍定植前散布 300 L/10 a + 1500倍収穫前散布300 L/10 a	5+3	1, 4, 8	圃場B:1.18(8回, 1日) (#)		
ぶどう (果実)	2	10.0%フロアブル	100倍休眠期散布 300~500 L/10 a + 1000倍散布 500 L/ 10 a	4	45, 60, 75	圃場A:4.22(4回, 45日) (#)		
					45, 59, 75	圃場B:1.68(4回, 45日) (#)		
かき (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 300, 400 L/10 a	3	28, 35	圃場A:0.6(3回, 28日) 圃場B:1.4(3回, 28日)		
					7, 14, 21	圃場A:0.05 圃場B:0.36		
バナナ (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A:1.33 圃場B:0.72		
グアバ (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 139~222 L/10 a		14, 21	圃場A:0.03(3回, 14日) 圃場B:0.08		
マンゴー (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 200 L/10 a	1	1, 3, 7	圃場A:0.5 圃場B:0.4		
パッション フルーツ (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A:0.33 圃場B:0.30		
いちじく (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 230~300 L/10 a		1, 7, 14	圃場A:0.25 圃場B:0.58		
ピタヤ (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 188~200 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A:1.42 圃場B:0.37(3回, 7日)		
オリーブ (果実)	2	10.0%フロアブル	1000倍散布 333~500 L/10 a		2	28	圃場A:1.16 圃場B:0.41	
茶 (荒茶)	4	20.0%フロアブル	2000倍散布200 L/10 a	3	14, 21	圃場A:4.75 圃場B:2.62 圃場C:0.80 圃場D:3.46		
茶 (浸出液)	4	20.0%フロアブル	2000倍散布200 L/10 a			圃場A:2.50 圃場B:1.34 圃場C:0.42 圃場D:1.28		
ホップ (穂花)	2	2.0%粒剤	20 g/株			1	0, 10, 20	圃場A:<1(1回, 0日) 圃場B:<1(1回, 0日)
あざつき (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 150~200 L/10 a			4	3, 7, 14	圃場A:1.5 圃場B:0.8
しそ (葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:0.10 圃場B:0.04		
	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:39.3 圃場B:52.4		
バジル (葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 200 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A:20.4 圃場B:16.0		

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
みょうが (花穂)	2	20.0%フロアブル	2000倍土壌灌注 3000 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:0.50(4回, 3日) (#) 圃場B:0.34(4回, 3日) (#)
	2	2.0%粒剤+ 20.0%フロアブル	散布18 kg/10 a + 2000倍土壌灌注 3000 L/10 a	4	3, 7, 14	圃場A:2.2 圃場B:1.0
とうき (茎葉)	2	20.0%フロアブル	2000倍散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A:12.0
				3	3, 8, 14	圃場B:10.0

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) 作物残留試験において測定した果肉、果皮及び種子の重量比のデータから、果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

注3) 種子の重量割合が不明のため、過去の作物残留試験等のデータから、種子8%として果実全体の残留濃度を算出した。また、種子の残留濃度は測定していないことから残留していないものとして算出した。

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
とうもろこし (穀粒)	6	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	8	7	圃場A:<0.01 (#)	
						圃場B:<0.01 (#)	
						圃場C:<0.01 (#)	
						圃場D:0.02 (#)	
						圃場E:<0.01 (#)	
						圃場F:<0.01 (#)	
大豆 (種子)	7	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6	14	圃場A:0.04 (#)	
					15	圃場B:0.12 (#)	
					14	圃場C:0.12 (#)	
					16	圃場D:0.07 (#)	
					14	圃場E:0.06 (#)	
						圃場F:0.06 (#)	
ラディッシュ (葉)	5	80%顆粒水和剤	370 g ai/ha 散布	6		圃場A:23.6 (#)	
						圃場B:32.4 (#)	
						圃場C:12.8 (#)	
						圃場D:9.9 (#)	
						圃場E:14.3 (#)	
						圃場A:2.49 (#)	
レタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6		圃場B:3.37 (#)	
						圃場C:3.43 (#)	
						圃場D:3.77 (#)	
						圃場E:2.47 (#)	
						圃場F:4.70 (#)	
						圃場G:3.39 (#)	
リーフレタス (葉)	8	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6	0	圃場H:2.11 (#)	
						圃場A:6.1 (#)	
						圃場B:3.5 (#)	
						圃場C:4.4 (#)	
						圃場D:10.0 (#)	
						圃場E:8.2 (#)	
セルリー (根茎)	8	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6		圃場F:4.9 (#)	
						圃場G:13.5 (#)	
						圃場H:2.7 (#)	
						圃場A:2.1 (#)	
						圃場B:3.8 (#)	
						圃場C:9.1 (#)	
ほうれんそう (茎葉)	7	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6	6	圃場D:3.2 (#)	
					0	圃場E:2.3 (#)	
					6	圃場F:4.6 (#)	
					0	圃場G:5.6 (#)	
					0,7	圃場H:2.2 (#)	
					0	圃場A:2.28 (#)	
パパイア (果実)	2	500 g ai/kg	80 g ai/ha 散布	6	0, 3, 7, 10, 14	圃場B:18.5 (#)	
			160 g ai/ha 散布			圃場C:8.25 (#)	
ひまわりの種子 (種子)	6	80%顆粒水和剤	120~250 g ai/ha 散布	3		圃場D:2.81 (#)	
						29	圃場E:23.0 (#)
						30	圃場F:13.6(6回,0日) (#)
						28	圃場G:12.5 (#)
	4	22.8%フロアブル	125~250 g ai/ha 散布	3		圃場A:0.16(6回,0日) (#)	
						28	圃場B:0.49(6回,0日) (#)
						29	圃場A:0.028 (#)
						30	圃場B:0.015 (#)
28					圃場C:0.052 (#)		
					29	圃場D:0.034 (#)	
					30	圃場E:0.24 (#)	
					28	圃場F:0.085 (#)	
28					圃場A:0.084		
					29	圃場B:<0.01	
					30	圃場C:0.018	
					28	圃場D:0.061	

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (米国)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
アーモンド (種子)	5	80%顆粒水和剤	280 g ai/ha 散布	6	29	圃場A:<0.01 (#)
						圃場B:<0.01 (#)
					28	圃場C:<0.01 (#)
						圃場D:<0.01 (#)
						圃場E:<0.01 (#)
ペカン (種子)	4	80%顆粒水和剤	220 g ai/ha 散布	6	42	圃場A:<0.01 (#)
						圃場B:<0.01 (#)
					24	圃場C:<0.01 (#)
						圃場D:<0.01 (#)

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (カナダ)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なたね (種子)	1	<i>水和剤 (250 g ai/L)</i>	250 g ai/L 散布	2	21, 23	圃場A:0.05(2回, 21日) (#)
なたね (種子)	1	<i>水和剤 (200 g ai/L)</i>	200 g ai/L 散布	2		圃場A:0.03(2回, 21日) (#)
キャノーラ (種子)	2	80%顆粒水和剤	448 g ai/ha 散布	1	71	圃場A:<0.01 (#)
					65	圃場B:0.01 (#)

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (豪州)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
アボカド (果肉)	6	顆粒水和剤 (500 g ai/kg)	0.2 g ai/L 散布	1	7	圃場A:<0.02 (#)
						圃場B:0.07 (#)
				3	7	圃場C:0.07 (#)
						圃場D:0.02 (#)
4	7	圃場E:0.13 (#)				
		圃場F:0.02 (#)				
アボカド (果皮)	6	顆粒水和剤 (500 g ai/kg)	0.2 g ai/L 散布	1	7	圃場A:0.31 (#)
						圃場B:1.00 (#)
				3	7	圃場C:1.65 (#)
						圃場D:0.71 (#)
4	7	圃場E:1.66 (#)				
		圃場F:0.11 (#)				
アボカド (果実)	6	顆粒水和剤 (500 g ai/kg)	0.2 g ai/L 散布	1	7	圃場A:0.079 (#)
						圃場B:0.283 (#)
				3	7	圃場C:0.547 (#)
						圃場D:0.197 (#)
4	7	圃場E:0.421 (#)				
		圃場F:0.031 (#)				

今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

## アゾキシストロビンの作物残留試験一覧表 (ブラジル)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) <sup>注1)</sup>
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
コーヒー豆 (種子)	1	50%顆粒水和剤	50 g ai/ha 散布	5	21, 28, 35, 42	圃場A:<0.01 (5回, 21日) (#)

(#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

## 収穫後使用に係る作物残留試験

## ①作物残留試験方法の概要

主に米国の農業試験場または州立大学の付属施設で農薬処理した作物を栽培し、収穫した果実に防かび処理を施した後、分析機関でアゾキシストロビンの残留量を測定した。試験に関与した全ての施設は GLP 適合施設であった。通常の栽培方法に従い、果実に散布処理を 2 回した後、成熟果実を収穫した。防かび処理は浸漬処理または荷造工程スプレー処理で 1 または 2 回行った。残留データを作成した作物は以下の通りである。

(登録作物名)	(残留データを作成した作物)
かんきつ類	グレープフルーツ、オレンジ、レモン

②作物残留試験結果及び米国の残留農薬基準

(A) かんきつ類

以下の表 A-1～A-3 の結果に基づき、米国におけるアゾキシストロビンのかんきつ類の残留基準は 10 ppm に設定された。

表 A-1. グレープフルーツ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
グレープフルーツ (マーシュ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.288	0.251
	米国テキサス州			0.101	0.098
	米国 カリフォルニア州	2 + 1 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	5.427	2.938
	米国テキサス州			2.096	1.562
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス)	0.986	0.915
	米国テキサス州		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	1.443	1.185
			1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	1.675	1.517
	米国 カリフォルニア州		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.554	0.414
	米国テキサス州		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス) + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.682	2.077
			1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.870	2.603
米国 カリフォルニア州	2 + 2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.865	0.734	

表 A-2. オレンジ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)			
				最大値	最小値		
オレンジ (バレンシア) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.285	0.171		
	米国フロリダ州			0.087	0.075		
	米国 カリフォルニア州	2 + 1 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)]	3.994	2.385		
	米国フロリダ州			1.632	1.213		
	米国 カリフォルニア州			1.082	0.822		
				果皮:5.518 果皮:4.690 果肉:0.744 果肉:0.528 全果実: 全果実: 1.982 1.509			
	米国フロリダ州			1.468	1.309		
	米国 カリフォルニア州			0.467	0.365		
				米国 カリフォルニア州	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 [Dip 処理(含ワックス)] + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	2.150	1.512
	米国フロリダ州						
	米国 カリフォルニア州			2 + 2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理(無ワックス) + 輸送用ワックス処理	0.584	0.578

表 A-3. レモン

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	※1 使用 回数	圃場処理量及び 収穫後処理量※2	分析結果 (mg/kg)	
				最大値	最小値
レモン (ユーレカ) 平成 13 年	米国 カリフォルニア州	2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup>	0.515	0.289
				0.693	0.466
		2 + 1 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス)	3.577	2.711
				6.643	5.050
				1.565	1.179
				1.952	1.466
				0.808	0.715
		5.478	3.604		
		2 + 2 回	0.056g ai/m <sup>2</sup> + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(含ワックス) + 1.19g ai/L 水 Dip 処理(無ワックス)	9.182	8.152
0.880	0.775				
		0.056g ai/m <sup>2</sup> + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (含ワックス) + 0.004g ai/kg 果実梱包工程 Spray 処理 (無ワックス) + 輸送用ワックス処理			

※1 使用回数について「A+B」と記載がある場合は、A：収穫前に使用したアゾキシストロビンの使用回数、B：収穫後に使用したアゾキシストロビンの使用回数を指す。

※2 アゾキシストロビン原体の含量を示す。

## 収穫後使用に係る作物残留試験

## ①作物残留試験方法の概要

主に米国またはカナダの州立大学付属施設で作物を栽培し、収穫した塊茎に防かび処理を施した後、分析機関でアゾキシストロビンの残留量を測定した。通常の栽培方法に従い、成熟した塊茎を収穫した。防かび処理は荷造工程スプレー (Spray) 処理で1回行った。残留データを作成した作物は以下の通りである。

(登録作物名)	(残留データを作成した作物)
塊茎及び 球茎野菜	ばれいしょ

②作物残留試験結果及び米国の残留農薬基準

(A) ばれいしょ

以下の表 1 の結果に基づき、米国におけるアゾキシストロピンの残留基準は 8.0 ppm に設定された。

表 1. ばれいしょ

作物名・分析部位 (品種) 年度	作物の 収穫場 所	使用 回数	収穫後処理量*	処理後 日数 (日後)	分析結果 (mg/kg)		
					最大値	最小値	
ばれいしょ・塊茎 (Russett Burbank) 2011 年	米国	1	合計 4.0966 g ai/2000 lb 塊茎 ベルトコンベアー上で Spray 処理	0	4.15	3.42	
				30	1.51	1.46	
				231	0.752	0.435	
ばれいしょ・塊茎 (Frito Lay) 2011 年	米国	1	合計 4.5105 g ai/2000 lb 塊茎 ベルトコンベアー上で Spray 処理	0	0.995	0.992	
ばれいしょ・塊茎 (AC Chaleur) 2011 年	カナダ	1	合計 4.0473 g ai/2000 lb 塊茎 回転式テーブル上で Spray 処理	0	3.66	3.50	
				14	4.75	4.51	
				31	4.17	4.14	
				59	4.34	4.25	
ばれいしょ・塊茎 (Russett Burbank) 2011 年	米国	1	合計 4.1050 g ai/100gal ベルトコンベアー上で Spray 処理	0	2.26	2.17	
				13	2.52	1.60	
				32	2.58	1.62	
				61	1.51	1.39	
ばれいしょ・塊茎 (Russett Burbank) 2011 年	米国	1	合計 4.1947 g ai/2000 lb 塊茎 ベルトコンベアー上で Spray 処理	0	1.45	1.37	
ばれいしょ・塊茎 (Russett Burbank) 2011 年	米国	1	合計 4.0997 g ai/2000 lb 塊茎 表面を Spray 処理	0	1.22	1.05	
				合計 4.0309 g ai/2000 lb 塊茎 Spray Chamber にて Spray 処理	0	3.57	3.50
				合計 4.0850 g ai/2000 lb 塊茎 回転式 Table にて Spray 後、Brush 処理	0	2.31	2.23

\* アゾキシストロピン原体の含量を示す。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米（玄米をいう。）	0.2	0.2	○			0.02, 0.04(¥)
小麦	0.3	0.3	○	0.2		0.02, 0.10(＃)(¥)
大麦	2	0.5		1.5		
ライ麦	0.3	0.3		0.2		
とうもろこし	0.05	0.05		0.02	0.05 米国	※1 【<0.01~0.02(＃)(n=6)(米 国)】
その他の穀類	10	0.5		10		
大豆	0.5	0.5	○	0.5	0.5 米国	【0.02~0.12(＃)(n=7)(米 国)】
小豆類	0.5	0.5	○	0.07	0.5 米国	【米国の大豆参照】
えんどう	0.5	0.5		0.07	0.5 米国	【米国の大豆参照】
そら豆	0.5	0.5		0.07	0.5 米国	【米国の大豆参照】
らっかせい	0.2	0.2		0.2		
その他の豆類	0.5	0.5		0.07	0.5 米国	【米国の大豆参照】
ばれいしょ	7	1	○・申	7		収穫後使用に係る作物残留 試験成績に基づき設定
さといも類（やつがしらを含む。）	1	1	○	1		
かんしょ	1	1		1		
やまいも（長いもをいう。）	1	1	○	1		
こんにゃくいも	1	1	○	1		
その他のいも類	1	1		1		
てんさい	1	1	○	1		
さとうきび	0.05			0.05		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	1	1	○	1		
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	50	50	○		50 米国	【9.9~32.4(＃)(n=5)(米 国)】
かぶ類の根	1	1	○	1		
かぶ類の葉	15	15	○			2.36, 8.64(¥)
西洋わさび	1	1		1		
クレソン	70	70	○	70		
はくさい	5	3	○	5		
キャベツ	5	5	○	5		
芽キャベツ	5	5		5		
ケール	40	40	○			(きょうな参照)
こまつな	15	15	○			1.0, 9.2(¥)
きょうな	40	40	○			8.5, 24.6(¥)
チンゲンサイ	40	40	○			(きょうな参照)
カリフラワー	5	5		5		
ブロッコリー	5	5	○	5		
その他のあぶらな科野菜	40	40	○	5		(きょうな参照)
ごぼう	1	1	○	1		
サルシフィー	1	1		1		
アーティチョーク	5	5		5		
チコリ	30	30		0.3	30 米国	【米国レタス(2.11~ 4.70(＃)(n=8)), リーフレタ ス(2.7~13.5(＃)(n=8)), セ ロリ(2.1~9.1(＃)(n=8))及 びほうれんそう(2.28~ 23.0(＃)(n=7))】
エンダイブ	30	30	○		30 米国	【米国レタス, リーフレタ ス, セロリ及びほうれんそう 参照】
しゅんぎく	30	30	○		30 米国	【米国レタス, リーフレタ ス, セロリ及びほうれんそう 参照】
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30	30	○	3	30 米国	【米国レタス, リーフレタ ス, セロリ及びほうれんそう 参照】
その他のきく科野菜	70	70	○	70		

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm	
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm		
たまねぎ	10	10	○	10		0.13, 0.83(¥)	
ねぎ(リーキを含む。)	10	10	○	10			
にんにく	10	10	○	10			
にら	10	70	○	10			
アスパラガス	2	2	○	0.01			
わけぎ	10	10	○	10			
その他のゆり科野菜	70	70	○	70			
にんじん	1	1	○	1	30 米国	【米国レタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそう参照】 1.6, 1.7(¥)	
パースニップ	1	1	○	1			
パセリ	70	70	○	70			
セロリ	30	30	○	5			
みつば	5	5	○				
その他のせり科野菜	70	70	○	70			
トマト	3	3	○	3			0.461, 0.467, 0.482
ピーマン	3	3	○	3			
なす	3	3	○	3			
その他のなす科野菜	3	30	○	3			
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	1	○	1			
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	1	1	○	1			
しろうり	1	1	○	1			
すいか		1	○				
すいか(果皮を含む。)	1		○	1			
メロン類果実		1	○				
メロン類果実(果皮を含む。)	2		○	1			
まくわうり		1	○				
まくわうり(果皮を含む。)	1		○	1			
その他のうり科野菜	1	1	○	1			
ほうれんそう	30	30	○		30 米国	【米国レタス、リーフレタス、セロリ及びびほうれんそう参照】	
オクラ	3	3	○	3		0.03, 0.14(¥)	
しょうが	0.5	0.5	○				
未成熟えんどう	3	3	○	3			
未成熟いんげん	3	3	○	3			
えだまめ	5	5	○	3			
しいたけ		3					
その他のきのこ類		3					
その他の野菜	70	70	○	70			
みかん	1	1			※1 収穫後使用に係る作物残留試験成績に基づき設定※2		
なつみかんの果実全体	10	10		15			
レモン	10	10		15			
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	10	10		15			
グレープフルーツ	10	10		15			
ライム	10	10		15			
その他のかんきつ類果実	10	10		15			

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
りんご	2	2	○			0.14, 0.98(＃)(＃)
日本なし	2	2	○			0.35, 0.68(＃)
西洋なし	2	2	○			(日本なし参照)
びわ		0.1	○			
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	3		○			0.32, 0.84, 0.97
もも		0.05	○			
もも(果皮及び種子を含む。)	2		○	2		
ネクタリン	3	3	○	2		0.5, 1.4(＃)
あんず(アプリコットを含む。)	2	2	○	2		
すもも(プルーンを含む。)	2	2	○	2		
うめ	2	2	○	2		
おうとう(チェリーを含む。)	3	3	○	2		0.47, 1.30(＃)
いちご	10	10	○	10		
ラズベリー	5	5		5		
ブラックベリー	5	5		5		
ブルーベリー	5	5		5		
クランベリー	0.5	0.5		0.5		
ハuckleベリー	5	5		5		
その他のベリー類果実	5	5		5		
ぶどう	10	10	○	2		1.68, 4.22(＃)(＃)
かき	1	1	○			0.05, 0.36(＃)
バナナ	3	3	○	2		0.72, 1.33(＃)
パパイヤ	2	2		0.3	2 米国	【0.16, 0.49(＃)(＃)(米国)】
アボカド	1	1				【0.079~0.547(＃)(n=5)(豪州)】
グアバ	0.3	0.3	○			0.03, 0.08(＃)
マンゴー	1	1	○	0.7		0.4, 0.5(＃)
パッションフルーツ	1	1	○			0.30, 0.33(＃)
その他の果実	5	5	○	5		
ひまわりの種子	0.5	0.5		0.5	0.5 米国	【<0.01~0.24(＃)(n=10)(米国)】
べにばなの種子	0.5	0.5			0.5 米国	【米国のひまわりの種子参照】
綿実	0.7	0.7		0.7		
なたね	1	1		0.5	1 カナダ	【<0.01~0.05(＃)(n=4)(カナダ)】
ぎんなん	0.01	0.01		0.01		
くり	0.02	0.02		0.01	0.02 米国	【米国ペカン(<0.01(＃)(n=4)),アーモンド(<0.01(＃)(n=5))】
ペカン	0.02	0.02		0.01	0.02 米国	【米国ペカン及びアーモンド参照】
アーモンド	0.02	0.02		0.01	0.02 米国	【米国ペカン及びアーモンド参照】
くるみ	0.02	0.02		0.01	0.02 米国	【米国ペカン及びアーモンド参照】
その他のナッツ類	1	1		1		
茶	10	10	○			0.8~4.75(n=4)
コーヒー豆	0.05	0.05		0.03	0.05 ブラジル	【<0.01(＃)ブラジル】
ホップ	30	30	○	30		
その他のスパイス	70	70		10		※1
その他のハーブ	70	70	○	70		

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
牛の筋肉	0.05	0.05		0.05		
豚の筋肉	0.05	0.05		0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉	0.05	0.05		0.05		
牛の脂肪	0.05	0.05		0.05		
豚の脂肪	0.05	0.05		0.05		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05	0.05		0.05		
牛の肝臓	0.07	0.07		0.07		
豚の肝臓	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.07	0.07		0.07		
牛の腎臓	0.07	0.07		0.07		
豚の腎臓	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07	0.07		0.07		
牛の食用部分	0.07	0.07		0.07		
豚の食用部分	0.07	0.07		0.07		
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.07	0.07		0.07		
乳	0.01	0.01		0.01		
鶏の筋肉	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの筋肉	0.01	0.01		0.01		
鶏の脂肪	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの脂肪	0.01	0.01		0.01		
鶏の肝臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの肝臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の腎臓	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの腎臓	0.01	0.01		0.01		
鶏の食用部分	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの食用部分	0.01	0.01		0.01		
鶏の卵	0.01	0.01		0.01		
その他の家きんの卵	0.01	0.01		0.01		
魚介類	0.08	0.08				推 : 0.0705
とうもろこし油 (注1に限る。)		0.1				
とうもろこし油		0.1		0.1		
とうがらし (乾燥させたもの)		30		30		※3
乾燥ハーブ	300	300		300		

申請 (国内における登録、承認等の申請、イポートランス申請) 以外の理由により本基準 (暫定基準以外の基準) を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

食品区分を別途新設すること等に伴い食品区分を削除したものについては、斜線で示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#) これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥) 作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

「作物残留試験」欄に「推」の記載のあるものは、推定残留濃度であることを示している。

注1) 食用植物油の日本農林規格に規定する食用とうもろこし油及びこれと同等以上の規格を有すると認められる食用油

※1 海外において基準値が設定されていることを考慮し、現行の基準値を維持することとする。

※2 参考とした米国の基準値は変更されており、国際基準も設定されているが、申請がなかったことから、現行の基準値を維持することとする。

※3 加工食品である「とうがらし (乾燥させたもの)」について、国際基準が設定されているが、加工係数を用いて原材料中の濃度に換算した値が当該原材料の基準値案を超えないことから、基準値を設定しないこととする。基準値が設定されていない加工食品については、原材料の基準値に基づき加工係数を考慮して適否を判断することとしている。なお、本物質について、JMPRは乾燥とうがらしの加工係数を10と算出している。

アゾキシストロビンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米(玄米をいう。)	0.2	0.03	32.8	4.9	17.1	2.6	21.1	3.2	36.0	5.4
小麦	0.3	0.06	17.9	3.6	13.3	2.7	20.7	4.1	15.0	3.0
大麦	2	0.05	10.6	0.3	8.8	0.2	17.6	0.4	8.8	0.2
ライ麦	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0
とうもろこし	0.05	0.012	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1
その他の穀類	10	1.85	2.0	0.4	1.0	0.2	1.0	0.2	3.0	0.6
大豆	0.5	0.07	19.5	2.7	10.2	1.4	15.7	2.2	23.1	3.2
小豆類	0.5	0.07	1.2	0.2	0.4	0.1	0.4	0.1	2.0	0.3
えんどう	0.5	0.07	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
そら豆	0.5	0.07	0.4	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1	0.4	0.1
らっかせい	0.2	0.01	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0
その他の豆類	0.5	0.07	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ばれいしょ	7	2.3	268.8	88.3	238.0	78.2	293.3	96.4	245.7	80.7
さといも類(やつがしらを含む。)	1	0.23	5.2	1.2	1.5	0.3	1.4	0.3	7.6	1.7
かんしょ	1	0.23	6.8	1.6	6.3	1.4	12.2	2.8	9.8	2.3
やまいも(長いもをいう。)	1	0.23	3.1	0.7	0.9	0.2	0.4	0.4	4.4	1.0
こんにやくいも	1	0.23	1.2	0.3	0.4	0.1	0.8	0.2	1.3	0.3
その他のいも類	1	0.23	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
てんさい	1	0.23	32.5	7.5	27.7	6.4	41.1	9.5	33.2	7.6
さとうきび	0.05	0.02	4.9	2.0	4.2	1.7	6.2	2.5	5.0	2.0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	1	0.23	33.0	7.6	11.4	2.6	20.6	4.7	45.7	10.5
だいこん類(ラディッシュを含む。)	50	18.4	85.0	31.3	30.0	11.0	155.0	57.0	140.0	51.5
かぶ類の根	1	0.23	2.8	0.6	0.8	0.2	0.1	0.0	5.0	1.2
かぶ類の葉	15	5.5	4.5	1.7	1.5	0.6	1.5	0.6	9.0	3.3
西洋わさび	1	0.23	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
クレソン	70	23	7.0	2.3	7.0	2.3	7.0	2.3	7.0	2.3
はくさい	5	1.2	88.5	21.2	25.5	6.1	83.0	19.9	108.0	25.9
キャベツ	5	1.2	120.5	28.9	58.0	13.9	95.0	22.8	119.0	28.6
芽キャベツ	5	1.2	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
ケール	40	16.6	8.0	3.3	4.0	1.7	4.0	1.7	8.0	3.3
こまつな	15	5.1	75.0	25.5	27.0	9.2	96.0	32.6	96.0	32.6
きょうな	40	16.6	88.0	36.5	16.0	6.6	56.0	23.2	108.0	44.8
チンゲンサイ	40	16.6	72.0	29.9	28.0	11.6	72.0	29.9	76.0	31.5
カリフラワー	5	1.2	2.5	0.6	1.0	0.2	0.5	0.1	2.5	0.6
ブロッコリー	5	1.2	26.0	6.2	16.5	4.0	27.5	6.6	28.5	6.8
その他のあぶらな科野菜	40	16.6	136.0	56.4	24.0	10.0	32.0	13.3	192.0	79.7
ごぼう	1	0.23	3.9	0.9	1.6	0.4	3.9	0.9	4.6	1.1
サルシフィー	1	0.23	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
アーティチョーク	5	1.8	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2	0.5	0.2
チコリ	30	6.22	3.0	0.6	3.0	0.6	3.0	0.6	3.0	0.6
エンダイブ	30	6.22	3.0	0.6	3.0	0.6	3.0	0.6	3.0	0.6
しゅんぎく	30	6.22	45.0	9.3	9.0	1.9	78.0	16.2	75.0	15.6
レタス(サラダ菜及びらしゃを含む。)	30	6.22	288.0	59.7	132.0	27.4	342.0	70.9	276.0	57.2
その他のきく科野菜	70	23	105.0	34.5	7.0	2.3	42.0	13.8	182.0	59.8
たまねぎ	10	2.2	312.0	68.6	226.0	49.7	353.0	77.7	278.0	61.2
ねぎ(リーキを含む。)	10	2.2	94.0	20.7	37.0	8.1	68.0	15.0	107.0	23.5
にんにく	10	2.2	4.0	0.9	1.0	0.2	10.0	2.2	5.0	1.1
にら	10	2.2	20.0	4.4	9.0	2.0	18.0	4.0	21.0	4.6
アスパラガス	2	0.48	3.4	0.8	1.4	0.3	2.0	0.5	5.0	1.2
わけぎ	10	2.2	2.0	0.4	1.0	0.2	1.0	0.2	2.0	0.4
その他のゆり科野菜	70	23	42.0	13.8	7.0	2.3	14.0	4.6	84.0	27.6
にんじん	1	0.23	18.8	4.3	14.1	3.2	22.5	5.2	18.7	4.3
パースニップ	1	0.23	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
パセリ	70	23	7.0	2.3	7.0	2.3	7.0	2.3	14.0	4.6
セロリ	30	6.22	36.0	7.5	18.0	3.7	9.0	1.9	36.0	7.5
みつば	5	1.7	2.0	0.7	0.5	0.2	0.5	0.2	2.5	0.9
その他のせり科野菜	70	23	14.0	4.6	7.0	2.3	21.0	6.9	21.0	6.9
トマト	3	0.35	96.3	11.2	57.0	6.7	96.0	11.2	109.8	12.8
ピーマン	3	0.35	14.4	1.7	6.6	0.8	22.8	2.7	14.7	1.7
なす	3	0.35	36.0	4.2	6.3	0.7	30.0	3.5	51.3	6.0
その他のなす科野菜	3	0.35	3.3	0.4	0.3	0.0	3.6	0.4	3.6	0.4
きゅうり(ガーキンを含む。)	1	0.17	20.7	3.5	9.6	1.6	14.2	2.4	25.6	4.4
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	1	0.17	9.3	1.6	3.7	0.6	7.9	1.3	13.0	2.2
しろうり	1	0.17	0.5	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.9	0.2
すいか(果皮を含む。)	1	0.02	7.6	0.2	5.5	0.1	14.4	0.3	11.3	0.2
メロン類果実(果皮を含む。)	2	0.004	7.0	0.0	5.4	0.0	8.8	0.0	8.4	0.0
まくわうり(果皮を含む。)	1	0.02	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0
その他のうり科野菜	1	0.17	2.7	0.5	1.2	0.2	0.6	0.1	3.4	0.6
ほうれんそう	30	6.22	384.0	79.6	177.0	36.7	426.0	88.3	522.0	108.2
オクラ	3	0.35	4.2	0.5	3.3	0.4	4.2	0.5	5.1	0.6
しょうが	0.5	0.09	0.8	0.1	0.2	0.0	0.6	0.1	0.9	0.2
未成熟えんどう	3	1	4.8	1.6	1.5	0.5	0.6	0.2	7.2	2.4
未成熟いんげん	3	1	7.2	2.4	3.3	1.1	0.3	0.1	9.6	3.2
えだまめ	5	1.4	8.5	2.4	5.0	1.4	3.0	0.8	13.5	3.8
その他の野菜	70	23	938.0	308.2	441.0	144.9	707.0	232.3	987.0	324.3

## アゾキシストロビンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
みかん	10	● 1	17.8	17.8	16.4	16.4	0.6	0.6	26.2	26.2
なつみかんの果実全体	10	1.49	13.0	1.9	7.0	1.0	48.0	7.2	21.0	3.1
レモン	10	1.49	5.0	0.7	1.0	0.1	2.0	0.3	6.0	0.9
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	10	1.49	70.0	10.4	146.0	21.8	125.0	18.6	42.0	6.3
グレープフルーツ	10	1.49	42.0	6.3	23.0	3.4	89.0	13.3	35.0	5.2
ライム	10	1.49	1.0	0.1	1.0	0.1	1.0	0.1	1.0	0.1
その他のかんきつ類果実	10	1.49	59.0	8.8	27.0	4.0	25.0	3.7	95.0	14.2
りんご	2	0.56	48.4	13.6	61.8	17.3	37.6	10.5	64.8	18.1
日本なし	2	0.52	12.8	3.3	6.8	1.8	18.2	4.7	15.6	4.1
西洋なし	2	0.52	1.2	0.3	0.4	0.1	0.2	0.1	1.0	0.3
びわ (果実を除き、果皮及び種子を含む。)	3	0.02	1.5	0.0	0.9	0.0	5.7	0.0	1.2	0.0
もも (果皮及び種子を含む。)	2	0.01	6.8	0.0	7.4	0.0	10.6	0.1	8.8	0.0
ネクタリン	3	0.95	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
あんず (アブリコットを含む。)	2	0.74	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.8	0.3
すもも (プルーンを含む。)	2	0.74	2.2	0.8	1.4	0.5	1.7	0.4	2.2	0.8
うめ	2	0.74	2.8	1.0	0.6	0.2	1.2	0.4	3.6	1.3
おうとう (チェリーを含む。)	3	0.89	1.2	0.4	2.1	0.6	0.3	0.1	0.9	0.3
いちご	10	1.3	54.0	7.0	78.0	10.1	52.0	6.8	59.0	7.7
ラズベリー	5	1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
ブラックベリー	5	1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
ブルーベリー	5	1	5.5	1.1	3.5	0.7	2.5	0.5	7.0	1.4
クランベリー	0.5	0.23	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ハuckleベリー	5	1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1	0.5	0.1
その他のベリー類果実	5	1	0.5	0.1	0.5	0.1	1.0	0.2	0.5	0.1
ぶどう	10	2.95	87.0	25.7	82.0	24.2	202.0	59.6	90.0	26.6
かき	1	0.21	9.9	2.1	1.7	0.4	3.9	0.8	18.2	3.8
バナナ	3	1.03	39.6	13.6	45.6	15.7	48.9	16.8	56.7	19.5
パイナップル	2	0.33	0.4	0.1	0.6	0.1	0.2	0.0	0.2	0.0
アボカド	1	0.39	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.2
グアバ	0.3	0.06	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
マンゴー	1	0.45	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1
パッションフルーツ	1	0.32	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他の果実	5	1	6.0	1.2	2.0	0.4	4.5	0.9	8.5	1.7
ひまわりの種子	0.5	0.063	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
ペレにぼの種子	0.5	0.063	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
綿実	0.7	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
なたね	1	0.025	5.9	0.1	3.7	0.1	5.4	0.1	4.6	0.1
ぎんなん	0.01	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くり	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ペカン	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アーモンド	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
くるみ	0.02	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のナッツ類	1	0.44	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
茶	10	1.39	66.0	9.2	10.0	1.4	37.0	5.1	94.0	13.1
コーヒー豆	0.05	0.01	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
ホップ	30	11	3.0	1.1	3.0	1.1	3.0	1.1	3.0	1.1
その他のスパイス	70	● 70	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	14.0	14.0
その他のハーブ	70	23	63.0	20.7	21.0	6.9	7.0	2.3	98.0	32.2
陸棲哺乳類の肉類	0.05	筋肉 0.01 脂肪 0.01	2.9	0.6	2.2	0.4	3.2	0.6	2.1	0.4
陸棲哺乳類の食用部分 (肉類除く)	0.07	0.01	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0
陸棲哺乳類の乳類	0.01	0.002	2.6	0.5	3.3	0.7	3.6	0.7	2.2	0.4
家さんの肉類	0.01	0.01	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
家さんの卵類	0.01	0.01	0.4	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.4	0.4
魚介類	0.08	0.022	7.4	2.0	3.2	0.9	4.3	1.2	9.2	2.5
計			4356.0	1178.3	2367.6	618.5	4178.7	1070.9	5063.4	1388.6
ADI比 (%)			43.9	11.9	79.7	20.8	39.7	10.2	50.1	13.8

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

●: 個別の作物残留試験がないことから、暴露評価を行うにあたり基準値 (案) の数値を用いた。

大麦、その他の穀類、さといも類、かんしょ、やまいも、こんにゃくも、その他のいも類、てんさい、さとうきび、だいこん類 (ラディッシュを含む。)、の根、かぶ類の根、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、カリフラワー、ブロッコリー、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、その他のきく科野菜、たまねぎ、ねぎ (リーキを含む。)、にんにく、にら、わけぎ、その他のゆり科野菜、にんじん、パースニップ、パセリ、その他のせり科野菜、トマト、ピーマン、なす、その他のなす科野菜、きゅうり (ガーキンを含む。)、かぼちゃ (スカッシュを含む。)、しろりり、すいか (果皮を含む。)、メロン類果実 (果皮を含む。)、まくわうり (果皮を含む。)、その他のうり科野菜、オクラ、未成熟えんどう、未成熟いんげん、その他の野菜、あんず (アブリコットを含む。)、すもも (プルーンを含む。)、うめ、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー、ハuckleベリー、その他のベリー類果実、その他の果実、綿実、ぎんなん、その他のナッツ類、ホップ、その他のハーブ、陸棲哺乳類の肉類、陸棲哺乳類の乳類、家禽の肉類及び家禽の卵類については、JMPRの評価に用いられた残留試験データを用いてEDI試算をした。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いてEDI試算をした。

「魚介類」については、摂取する魚介類を内水面 (湖や河川) 魚介類、海産魚介類及び遠洋魚介類に分け、それぞれ海産魚介類での推定残留濃度を内水面魚介類の1/5、遠洋魚介類での推定残留濃度を0として算出した係数 (0.31) を推定残留濃度に乗じた値を用いてEDI試算した。

「陸棲哺乳類の肉類」については、TMDI計算では、牛・豚・その他の陸棲哺乳類に属する動物の筋肉、脂肪の摂取量にその範囲の基準値案で最も高い値を乗じた。また、EDI計算では、畜産物中の平均的な残留農薬濃度を用い、摂取量の筋肉及び脂肪の比率をそれぞれ80%、20%として試算した。

アゾキシストロビンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米(玄米)	米	0.2	○ 0.03	0.2	0
小麦	小麦	0.3	○ 0.06	0.1	0
大麦	大麦	2	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	2	○ 0.05	0.0	0
とうもろこし	スイートコーン	0.05	○ 0.012	0.1	0
大豆	大豆	0.5	○ 0.06	0.1	0
小豆類	いんげん	0.5	○ 0.07	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.2	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	7	○ 3.8	35.7	2
さといも類(やつがしらを含む。)	さといも	1	○ 0.45	2.4	0
かんしょ	かんしょ	1	○ 0.45	5.7	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	1	○ 0.45	3.7	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの根	1	○ 0.45	5.2	0
だいこん類(ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	50	○ 31.4	259.4	20
かぶ類の根	かぶの根	1	○ 0.45	3.3	0
かぶ類の葉	かぶの葉	15	15	39.9	3
はくさい	はくさい	5	○ 2.3	29.8	2
キャベツ	キャベツ	5	○ 2.3	22.0	1
ケール	ケール	40	40	321.2	20
こまつな	こまつな	15	15	63.5	4
きょうな	きょうな	40	40	133.4	9
チンゲンサイ	チンゲンサイ	40	40	296.9	20
カリフラワー	カリフラワー	5	○ 2.3	17.1	1
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 2.3	13.8	1
その他のあぶらな科野菜	たかな	40	40	313.8	20
	菜花	40	40	110.3	7
ごぼう	ごぼう	1	○ 0.45	2.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	30	○ 23	75.0	5
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	30	○ 23	129.8	9
	非結球レタス類	30	○ 23	92.7	6
	レタス	30	○ 23	131.9	9
たまねぎ	たまねぎ	10	○ 6.3	51.8	3
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	10	○ 6.3	24.0	2
にんにく	にんにく	10	○ 6.3	3.9	0
にら	にら	10	○ 6.3	8.5	1
アスパラガス	アスパラガス	2	2	4.2	0
わけぎ	わけぎ	10	○ 6.3	12.5	1
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	70	○ 48	85.0	6
	らっきょう	70	○ 48	51.1	3
にんじん	にんじん	1	○ 0.45	2.0	0
	にんじんジュース	1	○ 0.23	1.6	0
パセリ	パセリ(生)	70	○ 48	7.6	1
	パセリ(乾燥)	70	○ 23	20.5	1
セロリ	セロリ	30	○ 23	126.8	8
みつば	みつば	5	5	4.0	0
その他のせり科野菜	せり	70	○ 48	78.7	5
トマト	トマト	3	○ 1.4	15.3	1
ピーマン	ピーマン	3	○ 1.4	3.6	0
なす	なす	3	○ 1.4	9.0	1
その他のなす科野菜	とうがらし(生)	3	○ 1.4	2.3	0
	ししとう	3	○ 1.4	1.4	0
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	1	○ 0.75	4.8	0
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	1	○ 0.75	7.4	0
	ズッキーニ	1	○ 0.75	5.4	0
しろうり	しろうり	1	○ 0.75	6.2	0
すいか(果皮を含む。)	すいか	1	○ 0.75	24.7	2
メロン類果実(果皮を含む。)	メロン	2	2	34.0	2
その他のうり科野菜	とうがん	1	○ 0.75	12.8	1
	にがうり	1	○ 0.75	6.1	0

## アゾキシストロビンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
ほうれんそう	ほうれんそう	30	○ 23	111.4	7
オクラ	オクラ	3	○ 1.4	2.1	0
しょうが	しょうが	0.5	0.5	0.5	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	3	○ 1.5	2.4	0
	未成熟えんどう (豆)	3	○ 1.5	2.5	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	3	○ 1.5	2.9	0
えだまめ	えだまめ	5	5	12.7	1
その他の野菜	ずいき	70	○ 48	485.8	30
	もやし	70	○ 48	110.1	7
	れんこん	70	○ 48	298.4	20
	そら豆 (生)	70	○ 48	141.0	9
みかん	みかん	1	1	9.3	1
なつみかんの果実全体	なつみかん	10	○ 9.18	114.1	8
レモン	レモン	10	○ 9.18	19.2	1
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	10	○ 9.18	86.3	6
	オレンジ果汁	10	○ 1.49	14.8	1
グレープフルーツ	グレープフルーツ	10	○ 9.18	158.0	10
その他のかんきつ類果実	きんかん	10	○ 9.18	21.9	1
	ぼんかん	10	○ 9.18	96.6	6
	ゆず	10	○ 9.18	14.5	1
	すだち	10	○ 9.18	14.4	1
りんご	りんご	2	2	28.6	2
	りんご果汁	2	○ 0.56	5.9	0
日本なし	日本なし	2	2	30.3	2
西洋なし	西洋なし	2	2	28.1	2
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	びわ	3	3	21.5	1
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	2	○ 1.4	19.0	1
すもも (ブルーンを含む。)	ブルーン	2	○ 1.4	8.2	1
うめ	うめ	2	○ 1.4	1.9	0
おうとう (チェリーを含む。)	おうとう	3	3	7.5	1
いちご	いちご	10	○ 4.5	17.2	1
ブルーベリー	ブルーベリー	5	○ 3.6	5.2	0
ぶどう	ぶどう	10	10	134.7	9
かき	かき	1	1	14.3	1
バナナ	バナナ	3	3	33.5	2
アボカド	アボカド	1	○ 0.547	3.9	0
マンゴー	マンゴー	1	1	13.5	1
その他の果実	いちじく	5	○ 3.6	27.6	2
ぎんなん	ぎんなん	0.01	0.01	0.0	0
くり	くり	0.02	○ 0.01	0.0	0
アーモンド	アーモンド	0.02	○ 0.01	0.0	0
くるみ	くるみ	0.02	○ 0.01	0.0	0
茶	緑茶類	10	○ 1.31	0.8	0
ホップ	ホップ	30	○ 11	0.2	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

## アゾキシストロビンの推定摂取量（短期）：幼小児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米 (玄米)	米	0.2	○ 0.03	0.3	0
小麦	小麦	0.3	○ 0.06	0.2	0
大麦	大麦	2	○ 0.05	0.0	0
	麦茶	2	○ 0.05	0.1	0
とうもろこし	スイートコーン	0.05	○ 0.012	0.3	0
大豆	大豆	0.5	○ 0.06	0.1	0
らっかせい	らっかせい	0.2	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	7	○ 3.8	86.2	6
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	1	○ 0.45	5.6	0
かんしょ	かんしょ	1	○ 0.45	11.3	1
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	1	○ 0.45	6.1	0
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	1	○ 0.45	9.8	1
はくさい	はくさい	5	○ 2.3	36.1	2
キャベツ	キャベツ	5	○ 2.3	36.0	2
こまつな	こまつな	15	15	133.3	9
ブロッコリー	ブロッコリー	5	○ 2.3	33.1	2
ごぼう	ごぼう	1	○ 0.45	2.8	0
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	レタス類	30	○ 23	226.0	20
	非結球レタス類	30	○ 23	320.0	20
	レタス	30	○ 23	203.2	10
たまねぎ	たまねぎ	10	○ 6.3	110.5	7
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	10	○ 6.3	40.9	3
にんにく	にんにく	10	○ 6.3	4.6	0
にら	にら	10	○ 6.3	13.3	1
にんじん	にんじん	1	○ 0.45	4.7	0
パセリ	パセリ (生)	70	○ 48	8.4	1
トマト	トマト	3	○ 1.4	38.0	3
ピーマン	ピーマン	3	○ 1.4	9.2	1
なす	なす	3	○ 1.4	21.9	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	1	○ 0.75	10.9	1
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	1	○ 0.75	12.0	1
すいか (果皮を含む。)	すいか	1	○ 0.75	64.9	4
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	2	2	58.6	4
ほうれんそう	ほうれんそう	30	○ 23	258.2	20
オクラ	オクラ	3	○ 1.4	6.0	0
しょうが	しょうが	0.5	0.5	0.7	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	3	○ 1.5	1.9	0
	未成熟えんどう (豆)	3	○ 1.5	2.7	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	3	○ 1.5	6.0	0
えだまめ	えだまめ	5	5	14.0	1
その他の野菜	もやし	70	○ 48	201.3	10
	れんこん	70	○ 48	493.2	30
みかん	みかん	1	1	27.4	2
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	10	○ 9.18	247.4	20
	オレンジ果汁	10	○ 1.49	26.6	2
りんご	りんご	2	2	64.2	4
	りんご果汁	2	○ 0.56	18.9	1
日本なし	日本なし	2	2	57.5	4
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	2	○ 1.4	59.4	4
うめ	うめ	2	○ 1.4	4.8	0
いちご	いちご	10	○ 4.5	48.6	3
ぶどう	ぶどう	10	10	306.1	20
かき	かき	1	1	20.9	1
バナナ	バナナ	3	3	115.4	8
茶	緑茶類	10	○ 1.31	1.3	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

茶については、浸出液における作物残留試験結果を用いて試算をした。

(参考)

これまでの経緯

平成10年	4月24日	初回農薬登録
平成16年	11月16日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん及びピーマン）
平成16年	11月30日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成17年	11月29日	残留農薬基準告示
平成18年	2月22日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：にんじん、ねぎ等）
平成18年	7月18日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
平成18年	12月21日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年	3月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成19年	9月21日	残留農薬基準告示
平成19年	9月21日	農林水産省から厚生労働省へ基準値設定依頼（魚介類）
平成19年	10月2日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成19年	11月15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成19年	12月12日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成20年	6月30日	残留農薬基準告示
平成21年	4月20日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：バナナ、しょうが等）
平成21年	6月8日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成22年	1月28日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成22年	6月4日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成22年	12月13日	残留農薬基準告示
平成23年	8月9日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こんにゃく）

平成23年	10月	4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請	
平成23年	10月	4日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに添加物の指定に係る食品健康影響評価について要請	
平成24年	3月	15日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知	
平成24年	6月	22日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会	
平成25年	3月	12日	残留基準値告示	
平成25年	4月	16日	農林水産省より厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：葉しょうが）	
平成25年	6月	11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請	
平成25年	7月	29日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知	
平成26年	2月	20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会	
平成26年	11月	17日	残留基準値告示	
令和	元年	7月	22日	添加物基準値見直し申請（ばれいしょ）
令和	元年	7月	31日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに添加物の指定に係る食品健康影響評価について要請
令和	2年	3月	10日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和	2年	6月	24日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和	2年	6月	23日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所食品部長  
石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長  
井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室教授  
大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長  
折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園理事（兼）麻布大学獣医学部生理学教授  
魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科  
環境リスク評価学准教授  
佐々木 一昭 国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授  
佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授  
瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所  
国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長  
永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授  
根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長  
二村 睦子 日本生活協同組合連合会組織推進本部長  
宮井 俊一 元 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問  
吉成 浩一 静岡県公立大学法人静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申（案）

アゾキシストロビン

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.2
小麦	0.3
大麦	2
ライ麦	0.3
とうもろこし	0.05
その他の穀類 <sup>注1)</sup>	10
大豆	0.5
小豆類 <sup>注2)</sup>	0.5
えんどう	0.5
そら豆	0.5
らっかせい	0.2
その他の豆類 <sup>注3)</sup>	0.5
ばれいしょ	7
さといも類（やつがしらを含む。）	1
かんしょ	1
やまいも（長いもをいう。）	1
こんにゃくいも	1
その他のいも類 <sup>注4)</sup>	1
てんさい	1
さとうきび	0.05
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	1
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	50
かぶ類の根	1
かぶ類の葉	15
西洋わさび	1
クレソン	70
はくさい	5
キャベツ	5
芽キャベツ	5
ケール	40
こまつな	15
きょうな	40
チンゲンサイ	40
カリフラワー	5
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜 <sup>注5)</sup>	40

食品名	残留基準値 ppm
ごぼう	1
サルシフィー	1
アーティチョーク	5
チコリ	30
エンダイブ	30
しゅんぎく	30
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	30
その他のきく科野菜 <sup>注6)</sup>	70
たまねぎ	10
ねぎ（リーキを含む。）	10
にんにく	10
にら	10
アスパラガス	2
わけぎ	10
その他のゆり科野菜 <sup>注7)</sup>	70
にんじん	1
パースニップ	1
パセリ	70
セロリ	30
みつば	5
その他のせり科野菜 <sup>注8)</sup>	70
トマト	3
ピーマン	3
なす	3
その他のなす科野菜 <sup>注9)</sup>	3
きゅうり（ガーキンを含む。）	1
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	1
しろうり	1
すいか（果皮を含む。）	1
メロン類果実（果皮を含む。）	2
まくわうり（果皮を含む。）	1
その他のうり科野菜 <sup>注10)</sup>	1
ほうれんそう	30
オクラ	3
しょうが	0.5
未成熟えんどう	3
未成熟いんげん	3
えだまめ	5
その他の野菜 <sup>注11)</sup>	70

食品名	残留基準値
	ppm
みかん	1
なつみかんの果実全体	10
レモン	10
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	10
グレープフルーツ	10
ライム	10
その他のかんきつ類果実 <sup>注12)</sup>	10
りんご	2
日本なし	2
西洋なし	2
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	3
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	3
あんず（アプリコットを含む。）	2
すもも（プルーンを含む。）	2
うめ	2
おうとう（チェリーを含む。）	3
いちご	10
ラズベリー	5
ブラックベリー	5
ブルーベリー	5
クランベリー	0.5
ハックルベリー	5
その他のベリー類果実 <sup>注13)</sup>	5
ぶどう	10
かき	1
バナナ	3
パパイヤ	2
アボカド	1
グアバ	0.3
マンゴー	1
パッションフルーツ	1
その他の果実 <sup>注14)</sup>	5
ひまわりの種子	0.5
べにばなの種子	0.5
綿実	0.7
なたね	1
ぎんなん	0.01
くり	0.02
ペカン	0.02
アーモンド	0.02
くるみ	0.02
その他のナッツ類 <sup>注15)</sup>	1

食品名	残留基準値 ppm
茶	10
コーヒー豆	0.05
ホップ	30
その他のスパイス <sup>注16)</sup>	70
その他のハーブ <sup>注17)</sup>	70
牛の筋肉	0.05
豚の筋肉	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物 <sup>注18)</sup> の筋肉	0.05
牛の脂肪	0.05
豚の脂肪	0.05
その他の陸棲哺乳類に属する動物の脂肪	0.05
牛の肝臓	0.07
豚の肝臓	0.07
その他の陸棲哺乳類に属する動物の肝臓	0.07
牛の腎臓	0.07
豚の腎臓	0.07
その他の陸棲哺乳類に属する動物の腎臓	0.07
牛の食用部分 <sup>注19)</sup>	0.07
豚の食用部分	0.07
その他の陸棲哺乳類に属する動物の食用部分	0.07
乳	0.01
鶏の筋肉	0.01
その他の家きん <sup>注20)</sup> の筋肉	0.01
鶏の脂肪	0.01
その他の家きんの脂肪	0.01
鶏の肝臓	0.01
その他の家きんの肝臓	0.01
鶏の腎臓	0.01
その他の家きんの腎臓	0.01
鶏の食用部分	0.01
その他の家きんの食用部分	0.01
鶏の卵	0.01
その他の家きんの卵	0.01
魚介類	0.08
とうもろこし油	0.1
乾燥ハーブ	300

注1) 「その他の穀類」とは、穀類のうち、米（玄米をいう。）、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2) 「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3) 「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4) 「その他のいも類」とは、いも類のうち、ばれいしょ、さといも類（やつがしらを含む。）、かんしょ、やまいも（長いもをいう。）及びこんにゃくいも以外のものをいう。

注5) 「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類（ラディッシュを含む。）の根、だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注6) 「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス（サラダ菜及びちししゃを含む。）及びハーブ以外のものをいう。

注7) 「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ（リーキを含む。）、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注8) 「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注9) 「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注10) 「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり（ガーキンを含む。）、かぼちゃ（スカッシュを含む。）、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注11) 「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注12) 「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注13) 「その他のベリー類果実」とは、ベリー類果実のうち、いちご、ラズベリー、ブラックベリー、ブルーベリー、クランベリー及びハックルベリー以外のものをいう。

注14) 「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず（アプリコットを含む。）、すもも（プルーンを含む。）、うめ、おうとう（チェリーを含む。）、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイ、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注15) 「その他のナッツ類」とは、ナッツ類のうち、ぎんなん、くり、ペカン、アーモンド及びくるみ以外のものをいう。

注16) 「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

注17) 「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。

注18) 「その他の陸棲哺乳類に属する動物」とは、陸棲哺乳類に属する動物のうち、牛及び豚以外のものをいう。

注19) 「食用部分」とは、食用に供される部分のうち、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓以外の部分をいう。

注20) 「その他の家きん」とは、家きんのうち、鶏以外のものをいう。